

平成28年度  
男女共同参画社会づくりのための  
調査結果報告書

平成29年2月  
銚子市



# 目 次

## I 調査実施の概要

1. 調査の目的.....	1
2. 調査設計 .....	1
3. 調査内容 .....	1
4. 回収結果 .....	1
(1) 地区別回収結果.....	2
(2) 年齢別回収結果.....	2
5. 地域区分 .....	3
6. 報告書の見方 .....	4
7. 標本誤差 .....	4

## II 調査結果の概要

1. 調査回答者の属性.....	5
(1) 性別 .....	5
(2) 年齢 .....	5
(3) 職業 .....	6
(4) 居住地域.....	7
2. 調査票および単純集計結果.....	8

## III 調査結果

1. 男女平等意識について.....	16
2. 男女の役割分担について .....	25
3. 子育てと教育について .....	26
4. 労働について.....	28
5. 少子化対策について.....	38
6. ドメスティック・バイオレンス(DV)について .....	42
7. 男女共同参画政策への要望 .....	60

IV 自由意見.....	63
--------------	----



# I 調査実施の概要



# 1. 調査の目的

本調査は、平成 25 年 3 月に策定した『銚子市男女共同参画計画(第 2 次)』の見直しにあたり、市民の男女共同参画社会づくりに関する意見を集約し、市が今後取り組むべき施策に反映させることを目的とします。

# 2. 調査設計

- (1) 調査地域 銚子市内全域
- (2) 調査対象 市内に居住する満 16 歳以上の男女
- (3) 標本数 2,500 サンプル
- (4) 標本抽出 住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収(無記名)
- (6) 調査期間 平成 28 年 12 月 12 日(月)～平成 28 年 12 月 26 日(月)
- (7) 調査実施主体 銚子市政策企画部企画課

# 3. 調査内容

- (1) 回答者の属性について
- (2) 男女平等意識について
- (3) 男女の役割分担について
- (4) 子育てと教育について
- (5) 労働について
- (6) 少子化対策について
- (7) ドメスティック・バイオレンス(DV)について
- (8) 男女共同参画政策への要望について
- (9) 自由意見

# 4. 回収結果

標本数	有効回答数	回収率
2,500	1,250	50.0%

(1) 地区別回収結果

地区	抽出対象者		標本数		有効回答数	
	人数	比率	人数	比率	件数	回収率
地区1	10,498	21.3%	538	21.5%	269	50.0%
地区2	4,294	8.7%	214	8.6%	99	46.3%
地区3	4,703	9.5%	238	9.5%	126	52.9%
地区4	10,848	22.0%	549	22.0%	283	51.5%
地区5	9,208	18.7%	467	18.7%	217	46.5%
地区6	4,159	8.4%	211	8.4%	100	47.4%
地区7	3,449	7.0%	175	7.0%	69	39.4%
地区8	2,115	4.3%	108	4.3%	51	47.2%
地区不明					36	
合計	49,274	100.0%	2,500	100.0%	1,250	50.0%

(2) 年齢別回収結果

年齢区分	抽出対象者		標本数		有効回答数	
	人数	比率	人数	比率	件数	回収率
16～19歳	2,152	4.4%	122	4.9%	45	36.9%
20～24歳	2,618	5.3%	159	6.4%	57	35.8%
25～29歳	2,296	4.7%	123	4.9%	39	31.7%
30～34歳	2,596	5.3%	134	5.4%	44	32.8%
35～39歳	2,975	6.0%	161	6.4%	70	43.5%
40～44歳	3,606	7.3%	187	7.5%	82	43.9%
45～49歳	4,222	8.6%	218	8.7%	109	50.0%
50～54歳	4,203	8.5%	199	8.0%	96	48.2%
55～59歳	4,578	9.3%	200	8.0%	111	55.5%
60～64歳	5,176	10.5%	257	10.3%	150	58.4%
65～69歳	6,231	12.6%	309	12.4%	178	57.6%
70～74歳	4,429	9.0%	243	9.7%	151	62.1%
75歳以上	4,192	8.5%	188	7.5%	112	59.6%
年齢不明					6	
合計	49,274	100.0%	2,500	100.0%	1,250	50.0%

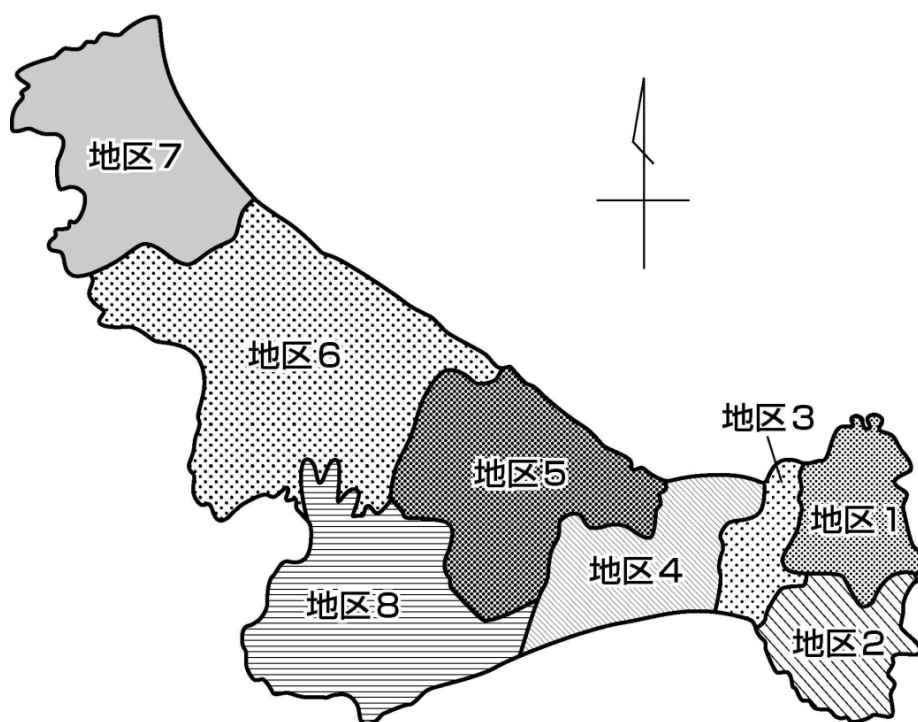
調査対象者は、平成28年10月1日現在の銚子市総人口を地区別、年齢別の比率で按分して抽出しました。



## 5. 地域区分

区分	地域
地区1	愛宕・清水・幸・港・仲・本・橋本・通・榊・海鹿島・弥生・植松・川口 笠上・黒生・明神・小畑新
地区2	高神東・高神西・小畑・犬若・犬吠埼・長崎・外川・外川台・君ヶ浜・潮見 天王台
地区3	陣屋・南・馬場・前宿・飯沼・浜・東・後飯・和田・田中・新地・竹・内浜 東小川・西小川・南小川・北小川・粟島・高神原・名洗
地区4	新生・中央・双葉・東芝・末広・妙見・台・西芝・栄・若宮・大橋・三軒 唐子・清川・八幡・春日・春日台・三崎・上野
地区5	松本・本城・長塚・今宮・松岸・松岸見晴台・垣根・垣根見晴台・四日市場 四日市場台・余山・柴崎・三宅・高野・赤塚
地区6	高田・芦崎・岡野台・三門・中島・正明寺・船木・野尻・小船木・塚本・忍 長山・小長・猿田・白石・茶畑
地区7	富川・森戸・笹本・豊里台・桜井・諸持・宮原
地区8	八木・小浜・親田・常世田・新

地域区分図



## 6. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が 100%にならない場合があります。
- (2) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問は、全ての比率を合計すると 100%にならない場合があります。
- (3) 質問の回答者数は(計:○)のように表記しました。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- (5) 分析軸に使用した属性項目は、未回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と異なる場合があります。

## 7. 標本誤差

標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差があり、次式により算出されます。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差 N = 母集団数 (銚子市 16 歳以上人口)  
n = 比率算出の基数 (回答者数) P = 回答比率 (%)

今回の調査結果の標本誤差は、次のようになります。

回答比率	標本誤差
10%または 90%	±1.6
20%または 80%	±2.1
30%または 70%	±2.5
40%または 60%	±2.6
50%	±2.7

例えば、回答者数が 1,250 人の設問である選択肢を選んだ人が 20%であった場合、その回答に対する誤差範囲は±2.1%以内となります。

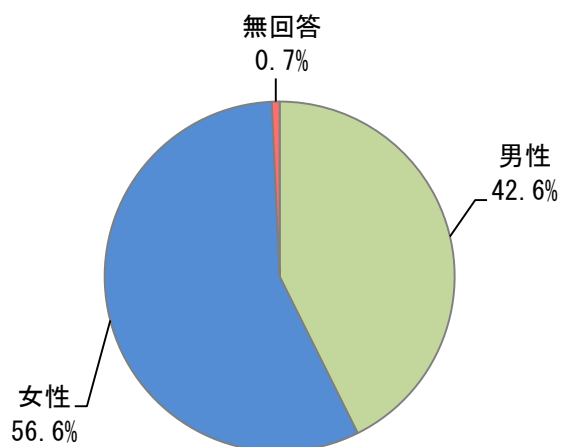
## II 調査結果の概要



# 1. 調査回答者の属性

## (1) 性別

No.		件数	構成比 (%)
1	男性	533	42.6
2	女性	708	56.6
	無回答	9	0.7
	合計	1,250	100.0

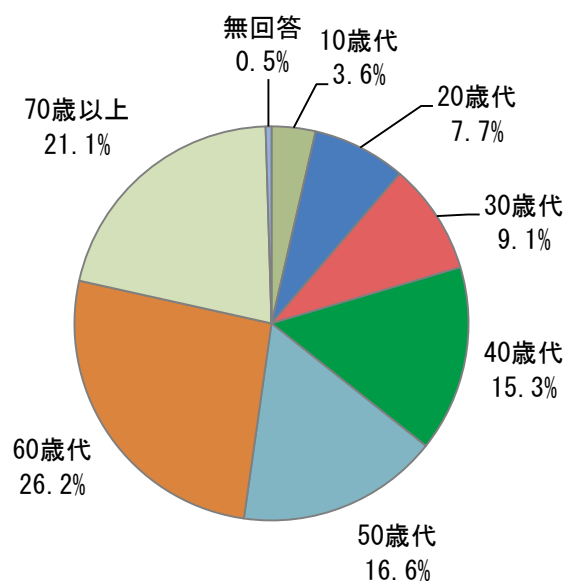


## (2) 年齢

No.		件数	構成比 (%)
1	16～19 歳	45	3.6
2	20～24 歳	57	4.6
3	25～29 歳	39	3.1
4	30～34 歳	44	3.5
5	35～39 歳	70	5.6
6	40～44 歳	82	6.6
7	45～49 歳	109	8.7
8	50～54 歳	96	7.7
9	55～59 歳	111	8.9
10	60～64 歳	150	12.0
11	65～69 歳	178	14.2
12	70～74 歳	151	12.1
13	75 歳以上	112	9.0
	無回答	6	0.5
	合計	1,250	100.0

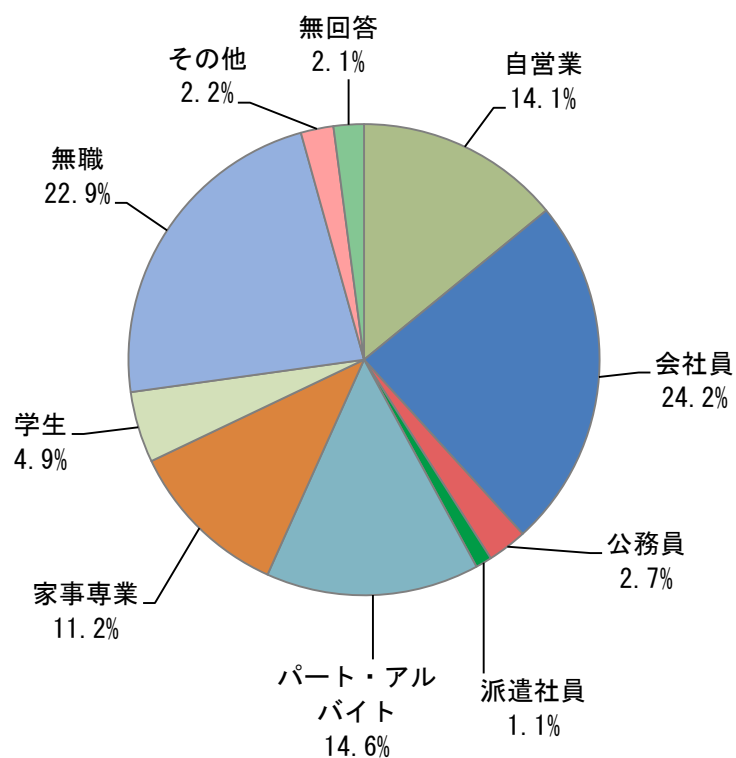
No.		件数	構成比 (%)
1	10 歳代	45	3.6
2	20 歳代	96	7.7
3	30 歳代	114	9.1
4	40 歳代	191	15.3
5	50 歳代	207	16.6
6	60 歳代	328	26.2
7	70 歳以上	263	21.1
	無回答	6	0.5
	合計	1,250	100.0

※分析にあたっては、年代別の上記7区分を分析軸として用いています。



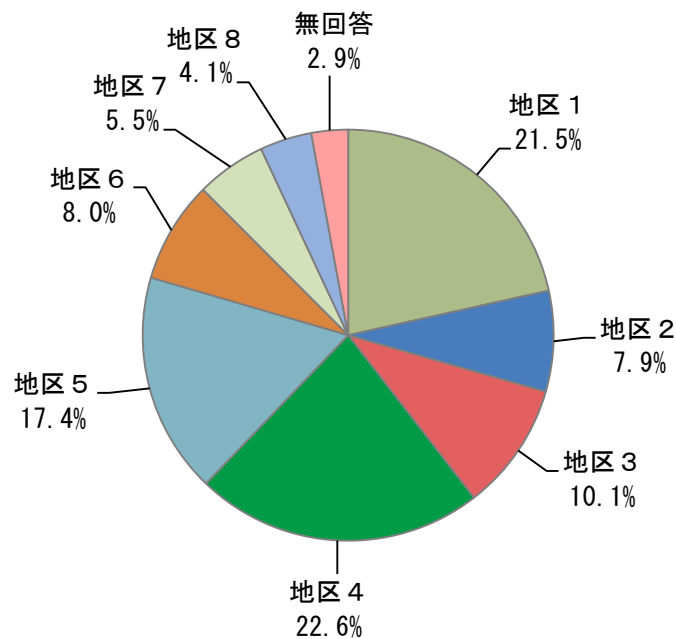
(3) 職業

No.		件数	構成比(%)
1	自営業	176	14.1
2	会社員	302	24.2
3	公務員	34	2.7
4	派遣社員	14	1.1
5	パート・アルバイト	183	14.6
6	家事専業	140	11.2
7	学生	61	4.9
8	無職	286	22.9
9	その他	28	2.2
	無回答	26	2.1
	合計	1,250	100.0



(4) 居住地域

区分	地域	件数	構成比(%)
地区1	愛宕・清水・幸・港・仲・本・橋本・通・榊・海鹿島・弥生・植松・川口・笠上・黒生・明神・小畑新	269	21.5
地区2	高神東・高神西・小畑・犬若・犬吠埼・長崎・外川・外川台・君ヶ浜・潮見・天王台	99	7.9
地区3	陣屋・南・馬場・前宿・飯沼・浜・東・後飯・和田・田中・新地・竹・内浜・東小川・西小川・南小川・北小川・粟島・高神原・名洗	126	10.1
地区4	新生・中央・双葉・東芝・末広・妙見・台・西芝・栄・若宮・大橋・三軒・唐子・清川・八幡・春日・春日台・三崎・上野	283	22.6
地区5	松本・本城・長塚・今宮・松岸・松岸見晴台・垣根・垣根見晴台・四日市場・四日市場台・余山・柴崎・三宅・高野・赤塚	217	17.4
地区6	高田・芦崎・岡野台・三門・中島・正明寺・船木・野尻・小船木・塚本・忍・長山・小長・猿田・白石・茶畑	100	8.0
地区7	富川・森戸・笹本・豊里台・桜井・諸持・宮原	69	5.5
地区8	八木・小浜・親田・常世田・新	51	4.1
	無回答	36	2.9
	合計	1,250	100.0



## 2. 調査票および単純集計結果

### 男女共同参画社会づくりのための調査

銚子市では、男女共同参画社会の実現に向けた様々な施策に取り組んでまいりました。

本調査は、平成 25 年3月に策定した『銚子市男女共同参画計画(第 2 次)』の見直しにあたり、市民の皆さんの男女共同参画社会づくりに関するご意見を伺い、市が今後取り組むべき施策に反映させるため、皆さんの日頃の生活やお考えをお聞きするものです。

#### 男女平等意識について

問 17 現在、次のような場面で男女の地位が平等になっていると思いますか。それともそう思いませんか。

	平等性 (それぞれ1つに○)						無回答
	男性のほう が非常に優遇 されている	どちらかとい えば男性の ほうが優遇 されている	平 等	ど ちらかとい えば女性の ほうが優遇 されている	女性 のほう が非常に 優遇 されている	わ から ない	
1. 家庭の中で	7.4	30.5	43.3	5.4	0.9	9.8	2.9
2. 職場で	8.2	33.2	25.0	3.4	1.0	23.0	6.2
3. 学校教育の場で	1.2	11.8	37.4	2.3	0.6	39.2	7.4
4. 地域活動の場で	4.0	25.7	33.8	3.8	0.5	27.2	5.0
5. 法律や制度の上で	5.4	28.6	34.6	3.0	0.9	22.2	5.4
6. 社会通念・慣習で	10.6	44.8	16.1	2.8	0.6	20.1	5.0
7. 政治や政策決定の場で	12.9	39.8	20.1	1.5	0.2	20.2	5.3
8. 社会全体として	10.6	49.1	17.0	2.9	0.4	15.6	4.5





## 男女の役割分担について

問 18 結婚（事実婚を含む）をし、同居している方のみお答えください。  
あなたの家では次にあげる仕事等は、どなたの役割になっていますか。



	役割分担 (それぞれ1つに○)						有効 回答 数
	主 に 夫	主 に 妻	夫 婦 同 程 度	そ の 他 の 人 ( 男 性 )	そ の 他 の 人 ( 女 性 )	該 当 し な い	
1. 食事の支度	2.6	82.7	7.5	0.2	5.4	1.6	883
2. 食事の後片付け	4.4	76.3	12.8	0.3	4.6	1.5	882
3. 日常の買い物	4.5	63.1	25.8	0.9	4.3	1.4	881
4. 掃除	4.0	72.9	17.1	0.8	4.2	1.0	881
5. 洗濯	2.6	82.7	8.5	0.5	4.6	1.1	884
6. ゴミだし	28.8	46.7	15.0	3.5	4.9	1.1	882
7. 大工仕事や電気製品の管理	63.9	9.0	14.6	7.1	1.0	4.4	869
8. 役所や銀行等への用事	16.4	54.5	22.6	2.2	2.4	1.9	877
9. 高齢者や病人の世話	2.1	44.3	13.4	0.7	2.2	37.3	845
10. 乳幼児の世話	0.5	38.4	7.2	0.0	1.9	52.1	808
11. 町内会や自治会への出席	31.5	34.1	16.3	3.5	4.1	10.6	861
12. 子どもの勉強やしつけ	1.2	33.1	21.1	0.0	2.2	42.3	815
13. 学校行事への参加	1.6	41.8	10.1	0.5	1.8	44.2	819

回答者を限定しているため無回答を省いて集計しています

## 子育てと教育について

問 19 学校教育の中で、男女共同参画意識を深めるために何が大切だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 男女平等の視点に立ち、性別にとらわれず、一人ひとりの個性を育むような授業をする	20.3
2. 生活指導や進路指導において、男女の差なく生徒自身の個性を生かした指導を行う	17.3
3. 男女共同参画に関する意識を深める研修を教員に対して行う	7.3
4. 教職員だけでなく保護者を含め、男女平等をテーマとした研修を行い、学校と家庭、地域が連携する	11.3
5. 男女とも人格を尊重しあい、お互いの性を大切にすることを目的とした教育を充実させる	17.3
6. 性差別や人種差別などに問題意識をもたせる	13.5
7. 今のままでよい	1.1
8. わからない	5.0
9. その他 ( )	0.8

無回答 6.1



問21 女性が仕事をもち続けるうえで、障害となっているものは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 女性の雇用機会や採用数が、男性より少ないこと	10.1
2. 長く働き続けられるような職場の条件や制度が不十分なこと	17.6
3. 結婚や出産、育児を支援する制度や雇用主の理解が不十分なこと	18.3
4. 保育施設や保育制度が不十分なこと	12.2
5. 家族の理解が得られないこと	4.1
6. 子どもや病人、高齢者の世話が女性だけにまかされていること	16.7
7. 仕事と家事の両立がむずかしいこと	15.4
8. わからない	2.0
9. その他 ( )	0.7

無回答 2.7

問22 これまで男性は、比較的家庭生活(家事・育児・介護等)や地域活動への参加が少なかったと言われていますが、男性の参加を促進するためには、どのようなことが必要だと思えますか。(○は2つまで)

1. 男性の家庭生活や地域活動への参加を促進するための啓発活動を行う	10.4
2. 地域活動に関する情報提供を積極的に行う	6.1
3. 労働時間を短くして余暇を増やす	10.5
4. 仕事と子育ての両立を支援する体制を整備する	18.7
5. 企業など職場における理解を得やすい環境づくりを推進する	28.4
6. 男性の家事・育児・介護などに関する技能を高めるような講座を開催する	7.7
7. わからない	7.6
8. その他 ( )	1.1

無回答 9.6

問23 あなたは、男女ともに「仕事と仕事以外の生活の調和」をはかり、充実した生活を送るために、どのようなことが必要だと思えますか。(○は3つまで)

1. 育児・介護休暇制度を利用しやすいように代替要員の確保など職場環境の整備	12.8
2. 育児・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援を充実する	15.9
3. 在宅勤務、フレックスタイム制など柔軟な勤務制度の導入	9.7
4. 保育所や学童保育の整備、保育時間の延長など保育内容の充実	10.3
5. 管理職の意識や男性中心の職場運営の見直し	7.2
6. ホームヘルパーや介護施設の充実	6.6
7. パートタイマーなど非正規職員の労働条件の改善	9.7
8. 職務上必要な教育や訓練等の機会、内容の充実	1.2
9. 男女がともに仕事と家庭を両立していくことに対して、周囲の理解と協力があること	16.6
10. わからない	3.9
11. その他 ( )	0.6

無回答 5.6

## 少子化対策について

問24 出生率が低くなった主な原因として何が考えられると思いますか。  
(○は3つまで)

1. 男女ともに「結婚して子育てをする」こと以外に、生きがいや価値観を見出す人が増えたから	8.4
2. 子育てより仕事や余暇の充実を求める人が増えたから	5.4
3. 女性の社会進出が進み、子育てよりも仕事に生きがいを見出す女性が増えたから	6.4
4. 結婚年齢が高くなったから	10.6
5. 出産・子育ては経済的に負担が大きいから	15.2
6. 子どもは少なく生んで、十分に手をかけて育てようとする人が増えたから	4.1
7. 労働環境などを含めて、仕事と子育てを両立させる社会的な仕組みが整っていないから	9.7
8. 出産後の職場復帰がむずかしいから	4.6
9. 住宅や遊び場など、子育てに望ましい住環境が整備されていないから	1.4
10. いつでも誰でも利用できる子育て支援サービスが整っていないから	2.3
11. 地域での付き合いが減り、身近で子育てを支えてくれる人がいなくなったから	1.8
12. 地球環境や社会の動向に対して、漠然とした不安を感じる人が増えているから	2.7
13. 出産・子育てに対する夫の理解・協力が足りず妻の精神的・肉体的負担が大きいから	2.2
14. 様々な理由で「結婚したくてもできない人」や「結婚しない人」が増えたから	17.7
15. わからない	1.5
16. その他 ( )	0.7

無回答 5.2

問25 あなたが、もし介護が必要になった時は主にどうしたいと思いますか。  
該当する番号ひとつに○をつけてください。  
※現在既に介護を受けている方もお答えください。

1. 配偶者（パートナー）に世話をしてもらう	22.2
2. 子どもや子どもの家族に世話をしてもらう	5.8
3. その他の親族に世話をしてもらう	0.9
4. 友人・知人に世話をしてもらう	0.2
5. 自宅で在宅介護サービス（ホームヘルパー等）を利用する	26.1
6. 介護サービス付きの施設（老人ホーム等）に入居する	32.3
7. その他（具体的に： )	2.5

無回答 10.1



## ドメスティック・バイオレンス（DV）について

\*ドメスティック・バイオレンス（DV）とは、配偶者やパートナーから受ける身体的、精神的、経済的又は言語的な暴力又は虐待のことをいいます

問26 親密な関係にあるパートナーからの暴力が問題になっています。パートナーから次のようなことを受けたことがありますか。

	DVを受けた経験 (それぞれ1つに〇)			無回答
	何度もあった	1・2度あった	まったくない	
(ア) 何をやっても、何をいっても無視された	3.4	8.5	72.0	16.2
(イ) 大切にしているものをわざと壊されたり捨てられたりした	1.1	3.8	78.7	16.3
(ウ) ばかにされたり、ののしられたり、命令口調でものを言われた	8.0	10.6	66.2	15.2
(エ) 交友関係や電話を細かく監視された	2.6	3.9	77.3	16.2
(オ) げんこつや身体を傷つける可能性のあるもので、殴るふりをして脅かされた	2.2	5.5	76.2	16.1
(カ) 平手で打たれたり、蹴られたり、かまれたり、げんこつで殴られたりした	2.2	5.4	76.6	15.8
(キ) 身体を傷つける可能性があるものでたたかれた	0.6	2.2	81.0	16.2
(ク) 生活費を渡されないことがあった	1.7	2.2	80.1	16.0
(ケ) 望まない性行為を強要された	2.5	3.5	77.8	16.2
(コ) その他 ( )	0.2	0.3	29.1	70.4

※次のページの間 27-1～27-3 は、(ア)～(コ) のいずれかで1または2と答えた方のみおこなってください。それ以外の方は問 28 にお進みください。

すべて3と答えた方

問 28 へ



※問 26 で (ア) ~ (コ) のいずれかで 1 または 2 と答えた方のみおこたえください。  
それ以外の方は問 28 にお進みください。

問27-1 これまでに、問26で挙げたような行為について、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。(○は1つだけ)

1. 相談した	22.7	2. 相談したかったが、しなかった	14.8
		3. 相談しようと思わなかった	51.0

1 を選んだ方は問 27-2 へお進みください

無回答 11.5

問27-2 実際に、誰に(どこに)相談しましたか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 親族	46.7	5. 役所の相談窓口等	5.7
2. 友人・知人	36.2	6. 医師・カウンセラー等	1.9
3. 同じような経験をした人	1.0	7. NPO、市民団体等	1.0
4. 家庭裁判所・弁護士・警察等	5.7	8. その他 ( )	1.0
		無回答	1.0

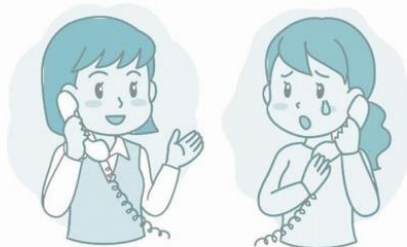
問 28 へ

2 または 3 を選んだ方は問 27-3 へ

問27-3 誰(どこ)にも相談しなかったのは、なぜですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 誰に(どこに)相談してよいかわからなかった	4.6
2. 相談する人がいなかった	3.8
3. 恥ずかしくて誰にも言えなかった	7.0
4. 相談しても無駄だと思った	13.7
5. 相談したことが分かると、仕返しを受けたりもっとひどい暴力を受けると思った	1.6
6. 自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思った	11.9
7. 他人を巻き込みたくなかった	5.7
8. 子どもに危害が及ぶと思った	2.2
9. 自分にも悪いところがあると思った	17.3
10. 相談するほどのことではないと思った	27.5
11. その他 ( )	1.3

無回答 3.5



## 男女共同参画政策への要望について

問28 男女共同参画社会を実現するため、銚子市にどのようなことを期待しますか。(〇は5つまで)

1. 学校教育での男女平等教育の推進	8.9
2. 男女平等、男女共同参画についての学級や講座の開催	2.7
3. 男女平等に関する情報提供や社会機運の醸成	4.6
4. DV(親密な関係にあるパートナーからの暴力)などの根絶のための取り組み	3.2
5. 職場における男女格差の是正や女性の労働条件の改善	12.7
6. 育児・介護休業制度の普及促進	12.1
7. 職業訓練、職業相談の充実	4.4
8. 育児・保育事業の充実	10.7
9. 高齢者・障害者の介護制度の充実	14.6
10. 地域活動やボランティア活動の促進	4.2
11. 女性リーダーの養成	3.5
12. 審議会など、行政への女性の参加促進	3.4
13. 男女共同参画推進を専門に担当する課の設置	1.6
14. 男女共同参画に関する苦情処理・相談窓口の設置	3.2
15. 男女共同参画推進条例の制定	1.0
16. 男女共同参画都市宣言	1.1
17. わからない	4.2
18. その他( )	0.5

無回答 3.4

男女共同参画社会づくりに関して、ご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。


ご協力ありがとうございました。

ご記入内容をお確かめのうえ、12月26日(月)までに同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。



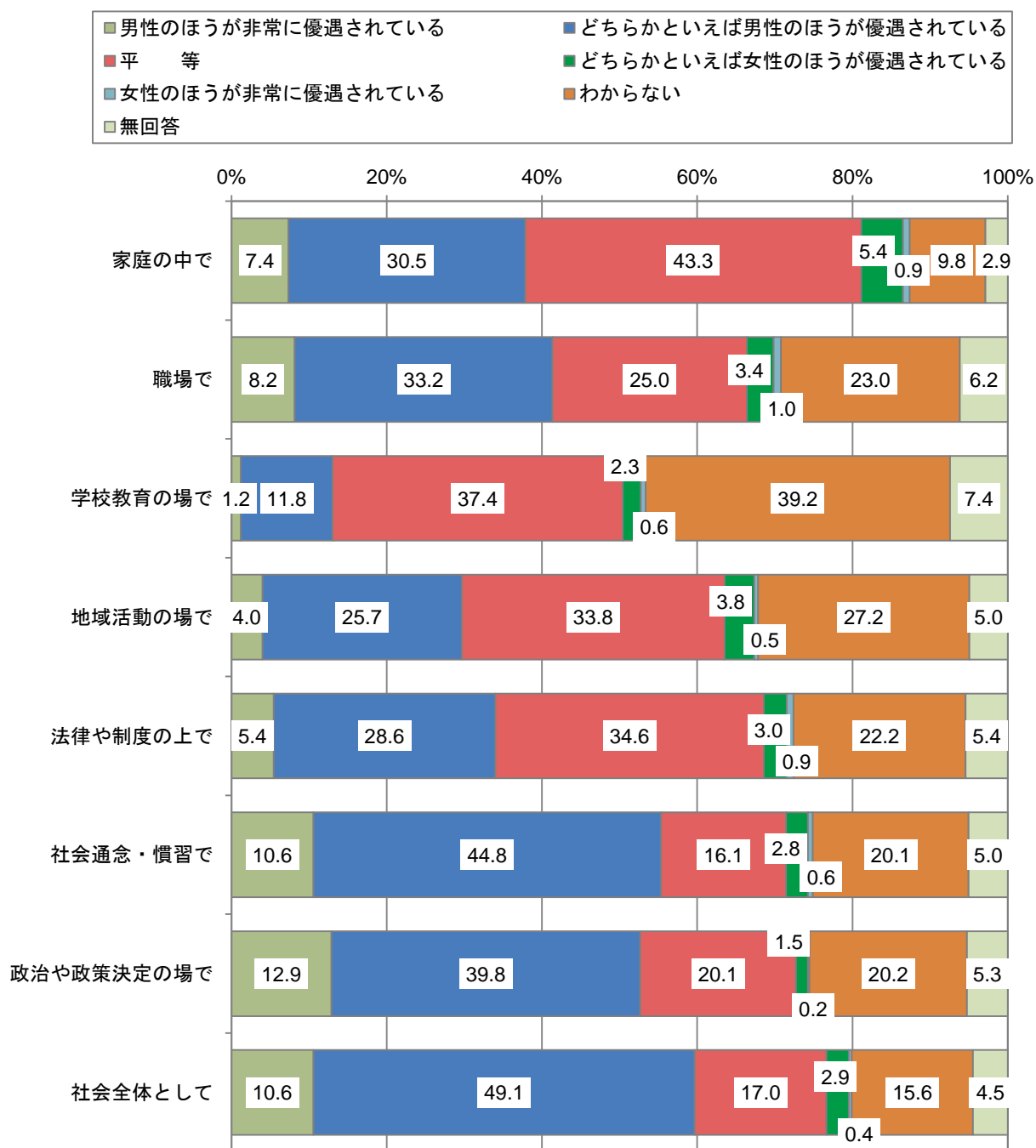


### III 調査結果



# 1. 男女平等意識について

問 17 現在、次のような場面で男女の地位が平等になっていると思いますか。  
それともそう思いませんか。



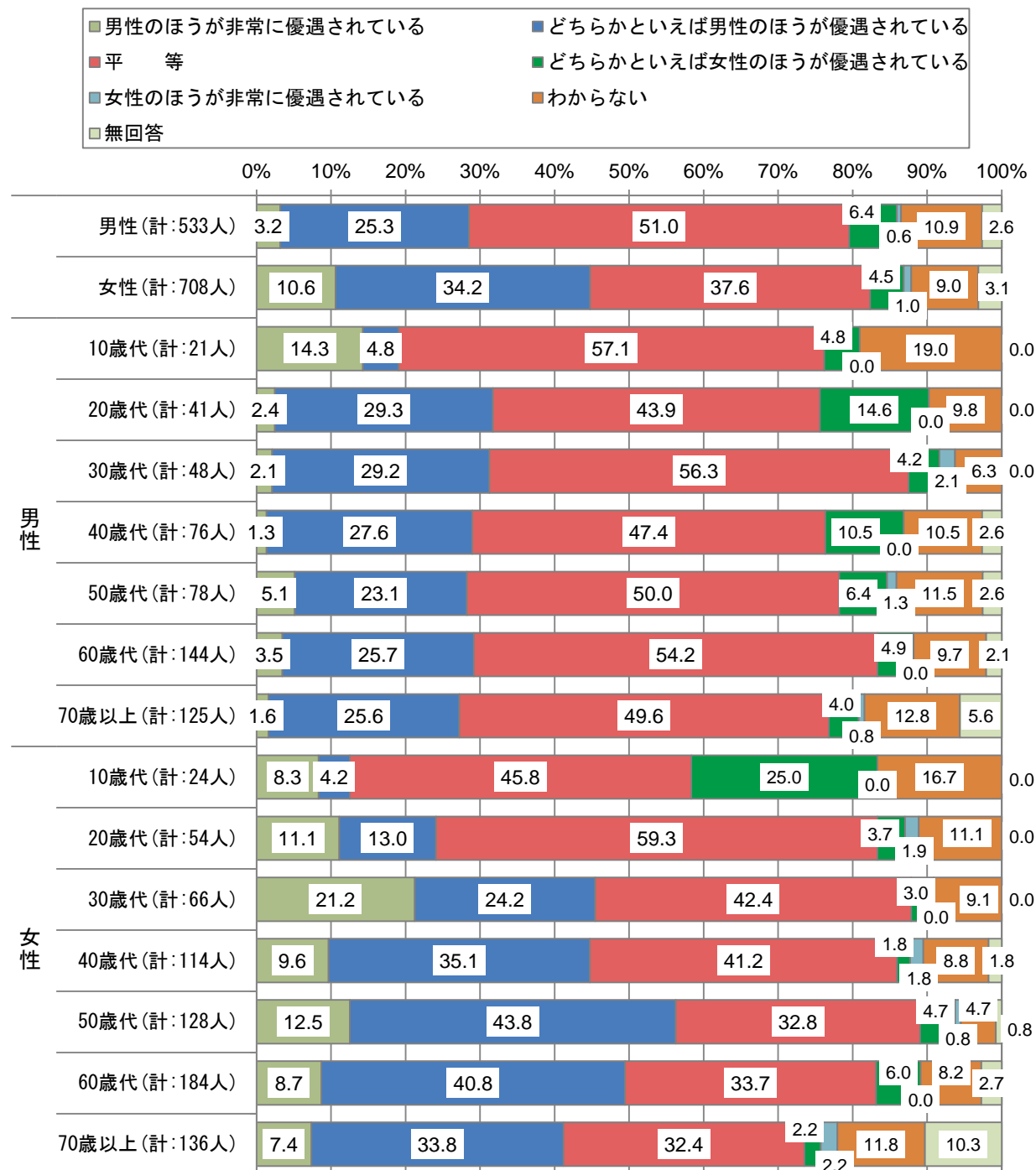
計:1,250人

問 17 現在、次のような場面で男女の地位が平等になっていると思いますか。

それともそう思いませんか。

### 1. 家庭の中で

【性別・年齢別】

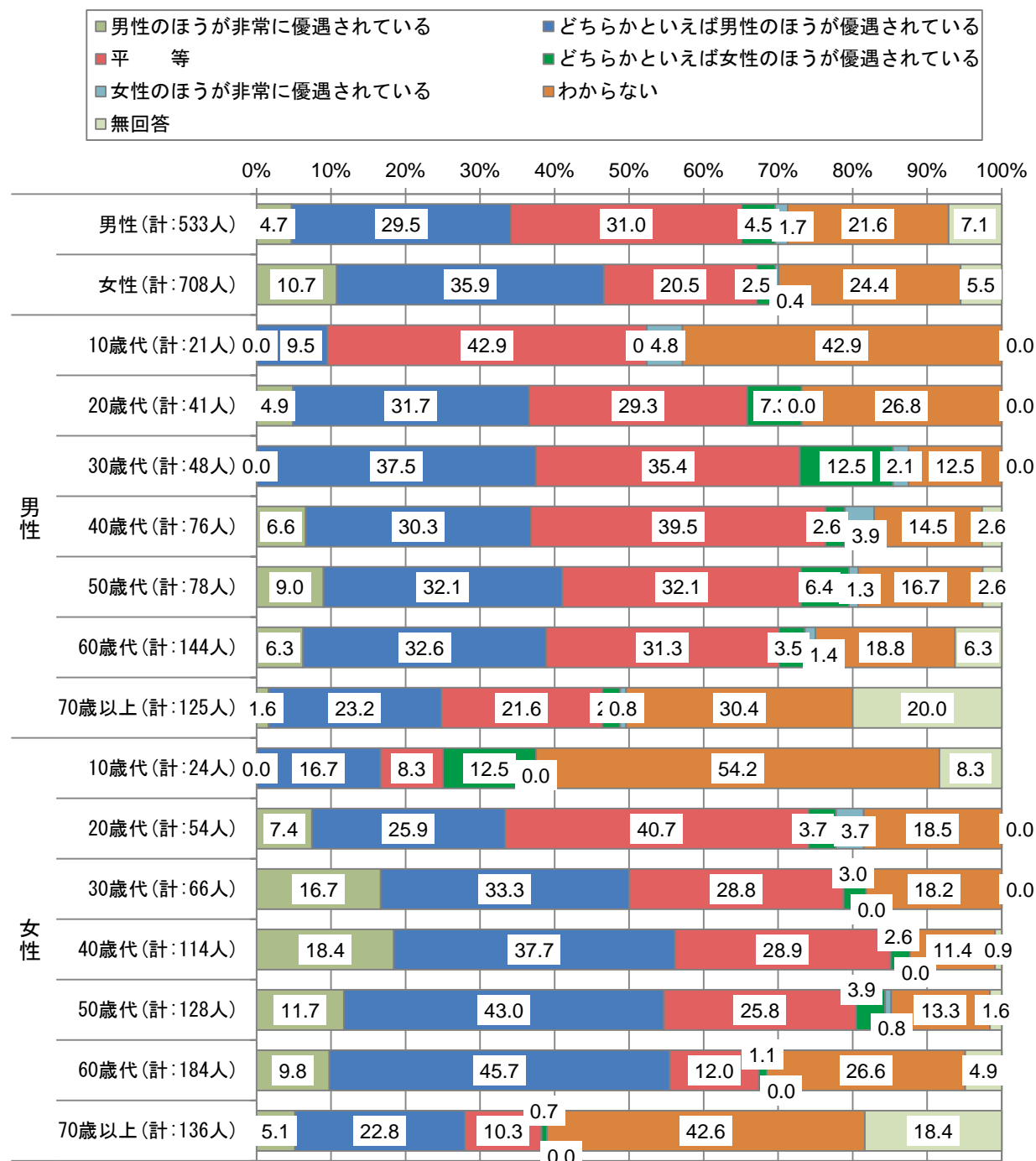


問 17 現在、次のような場面で男女の地位が平等になっていると思いますか。

それともそう思いませんか。

## 2. 職場で

【性別・年齢別】

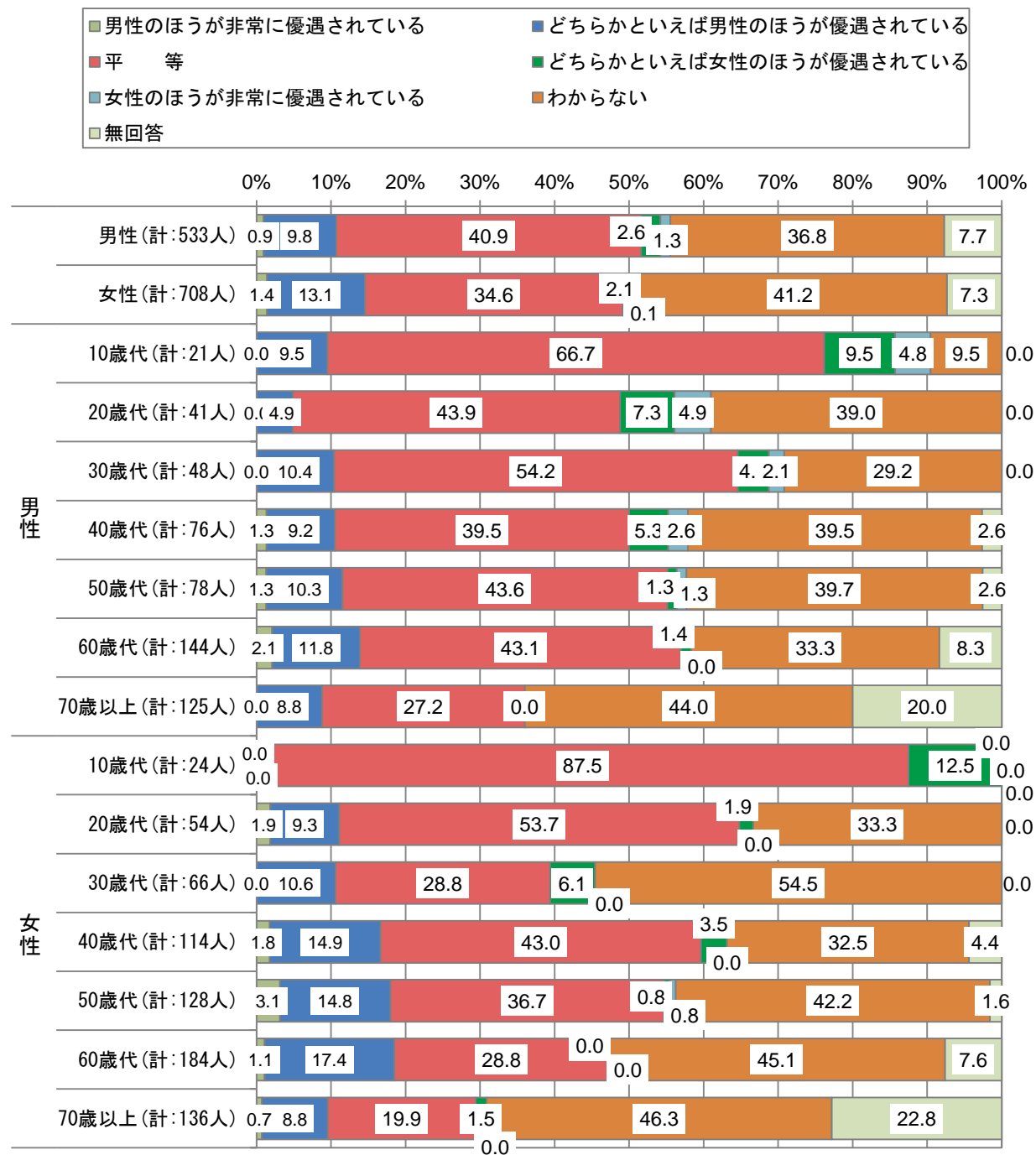


問 17 現在、次のような場面で男女の地位が平等になっていると思いますか。

それともそう思いませんか。

### 3. 学校教育の場で

【性別・年齢別】

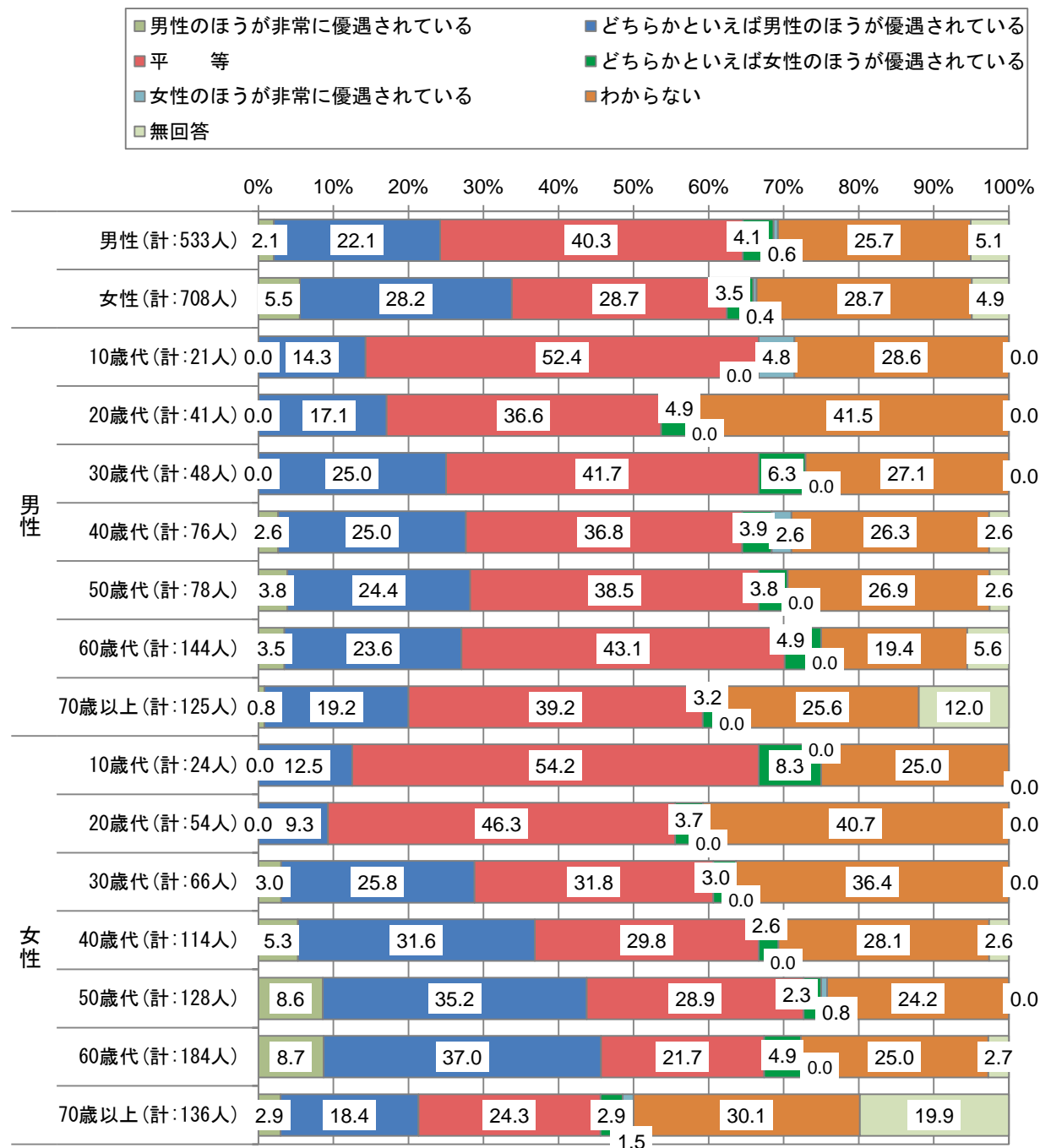


問 17 現在、次のような場面で男女の地位が平等になっていると思いますか。

それともそう思いませんか。

#### 4. 地域活動の場で

【性別・年齢別】

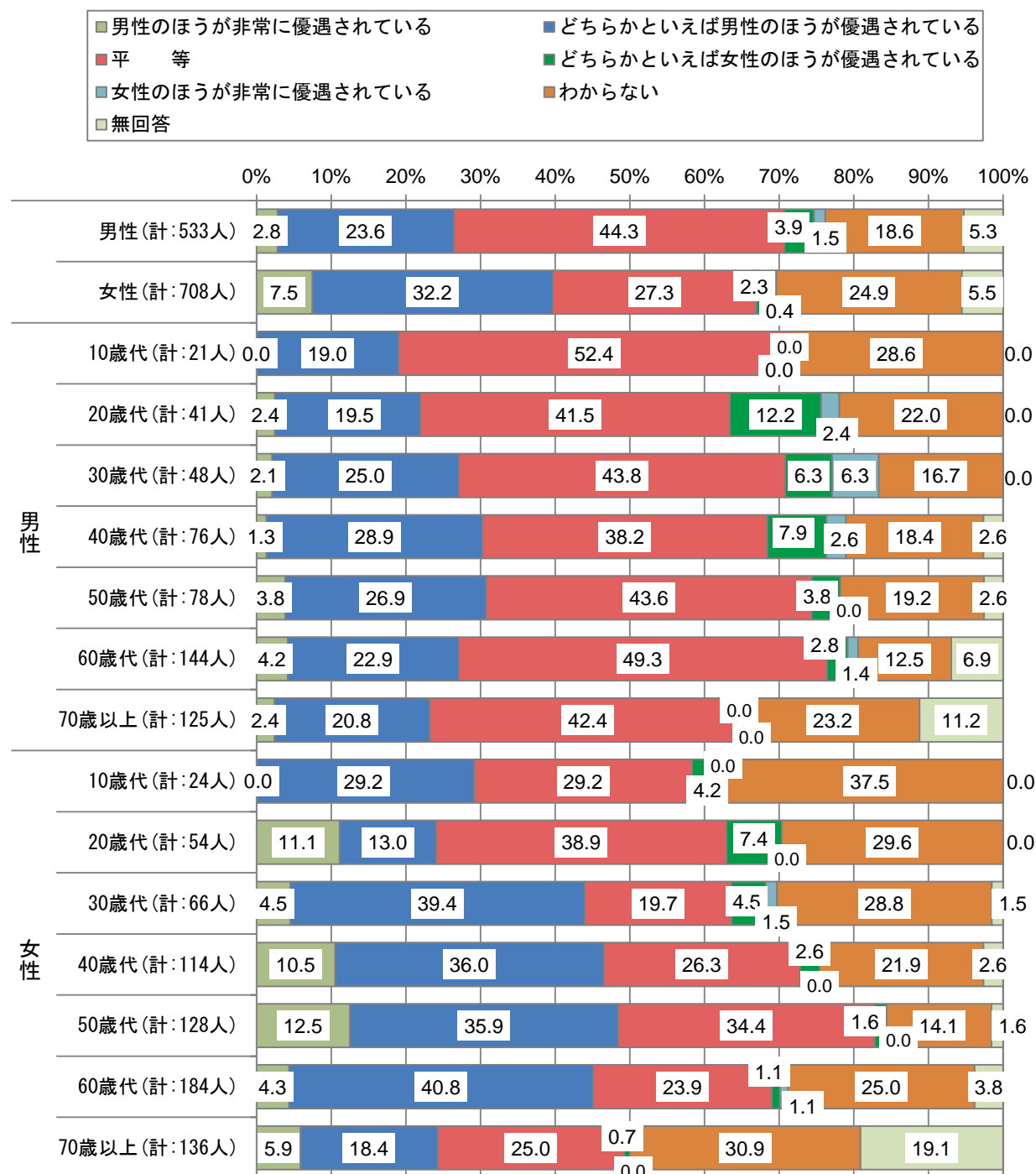


問 17 現在、次のような場面で男女の地位が平等になっていると思いますか。

それともそう思いませんか。

### 5. 法律や制度の上で

【性別・年齢別】



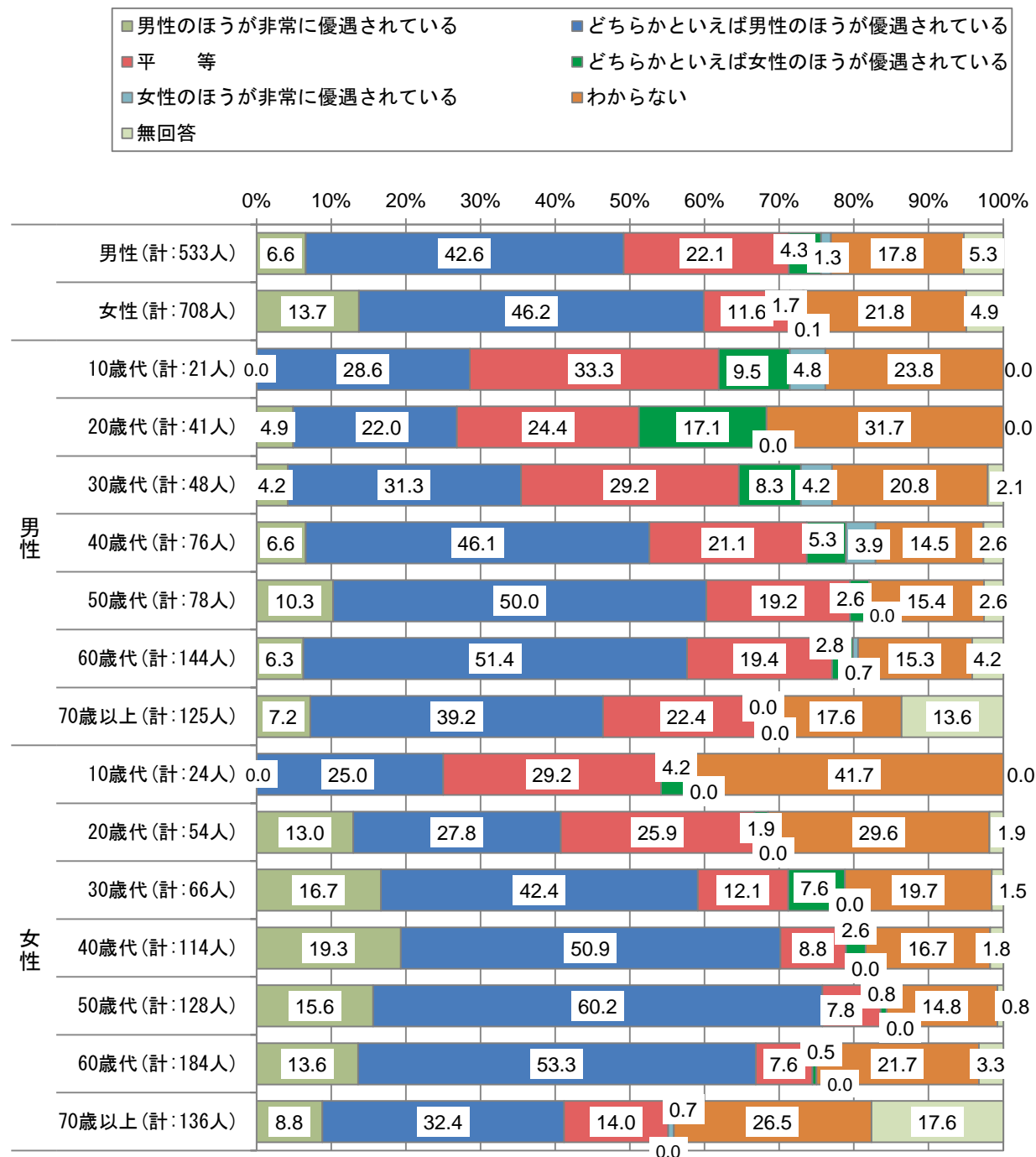


問 17 現在、次のような場面で男女の地位が平等になっていると思いますか。

それともそう思いませんか。

## 6. 社会通念・慣習で

【性別・年齢別】

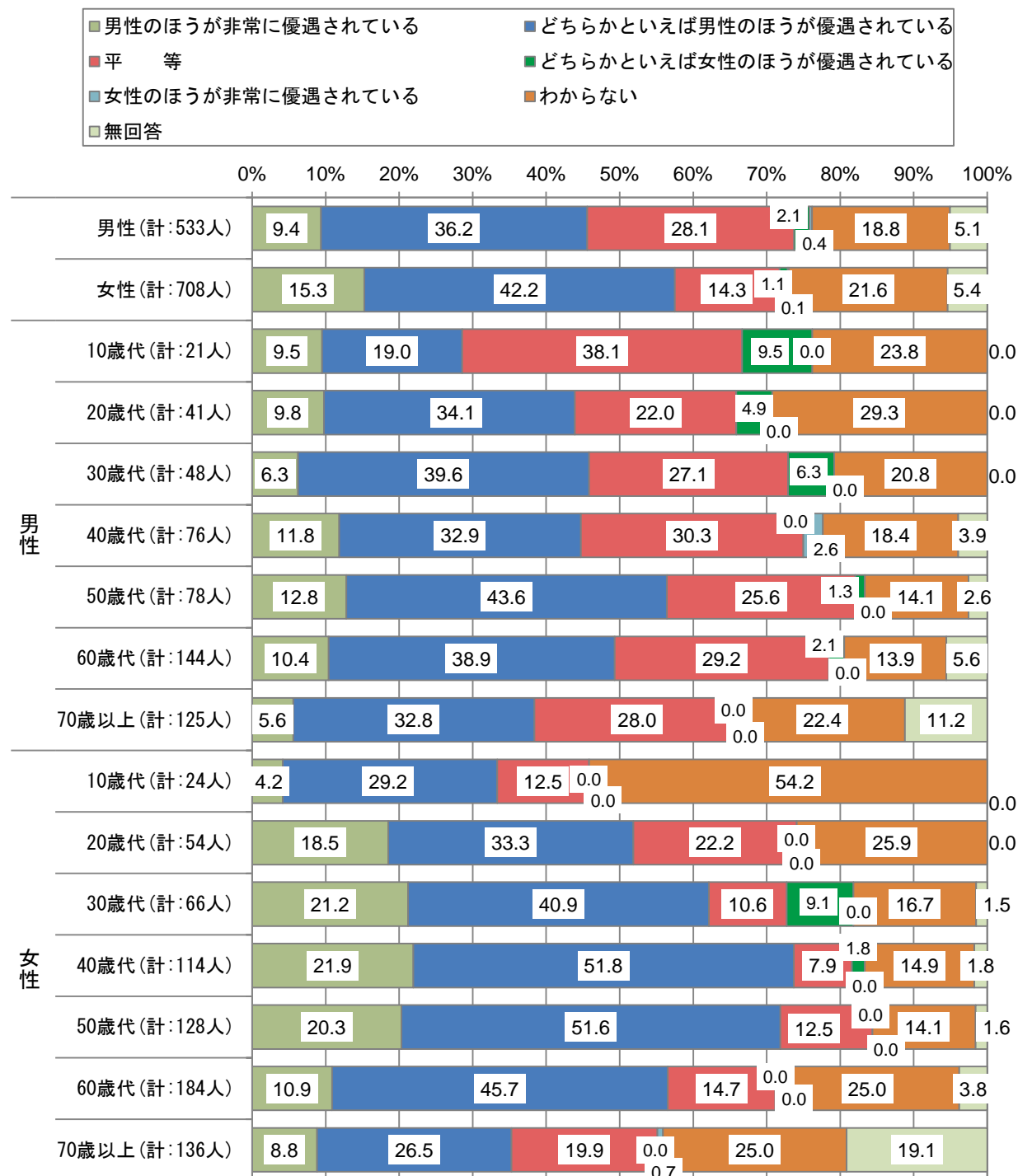


問 17 現在、次のような場面で男女の地位が平等になっていると思いますか。

それともそう思いませんか。

### 7. 政治や政策決定の場で

【性別・年齢別】

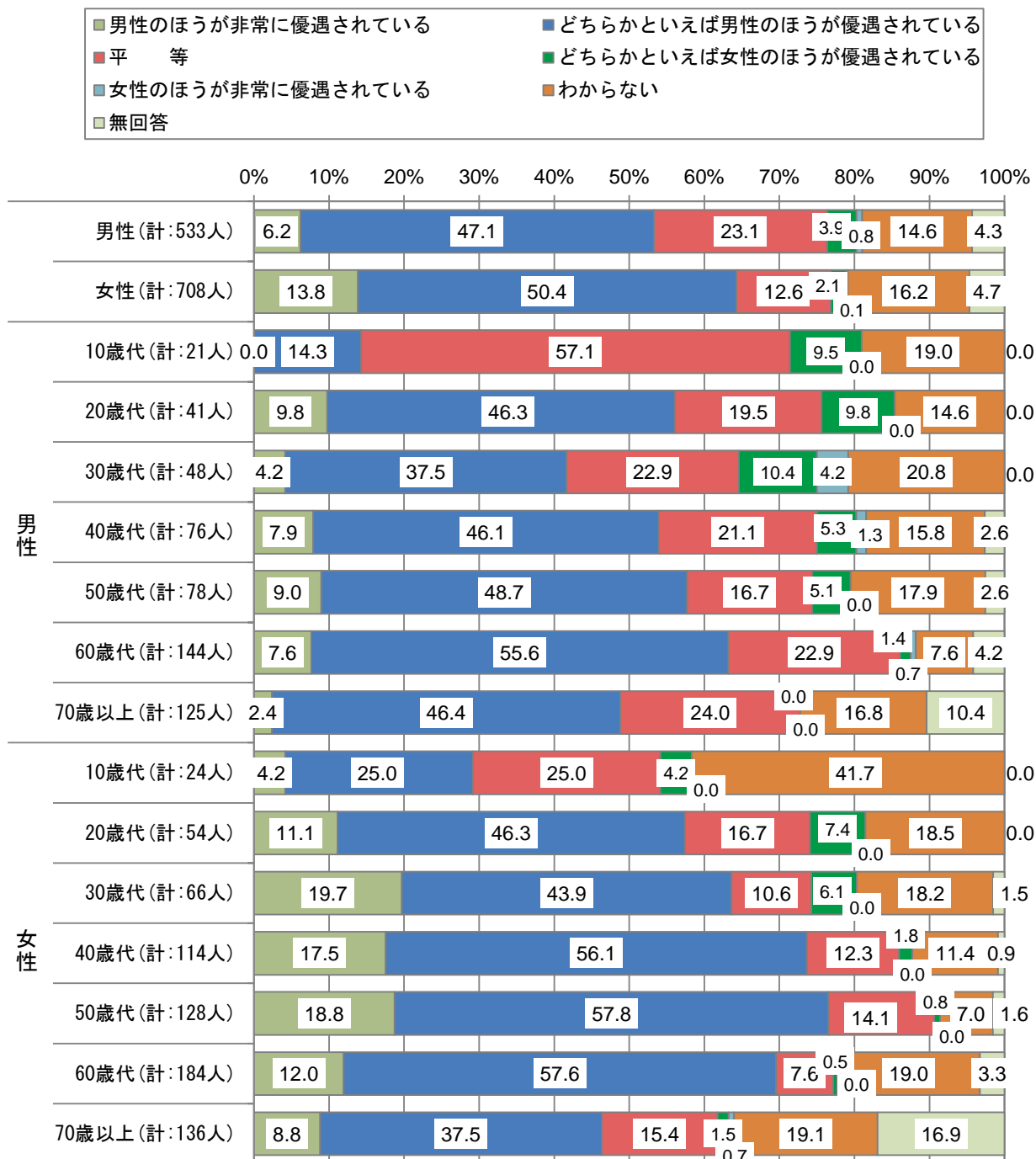


問 17 現在、次のような場面で男女の地位が平等になっていると思いますか。

それともそう思いませんか。

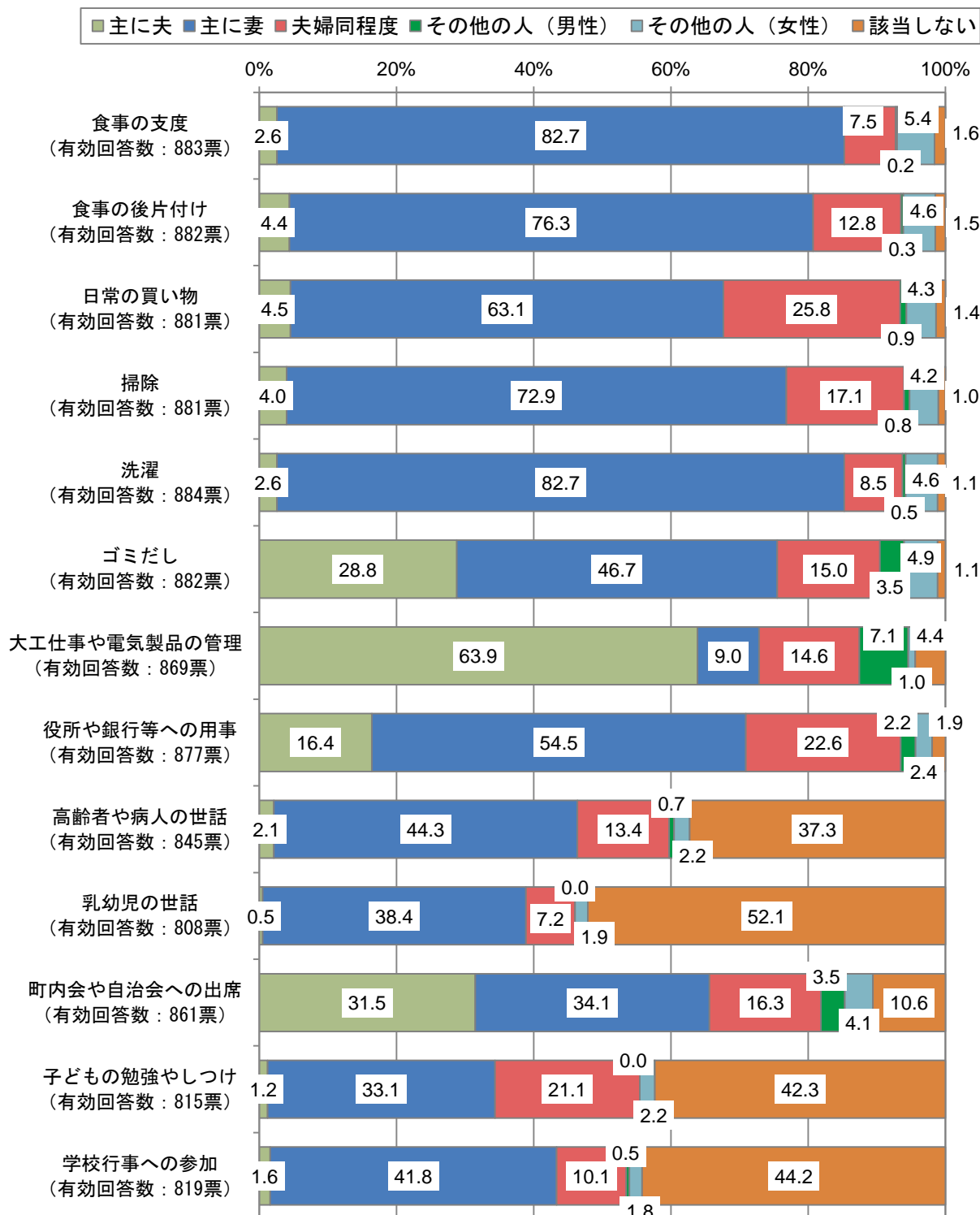
## 8. 社会全体として

【性別・年齢別】



## 2. 男女の役割分担について

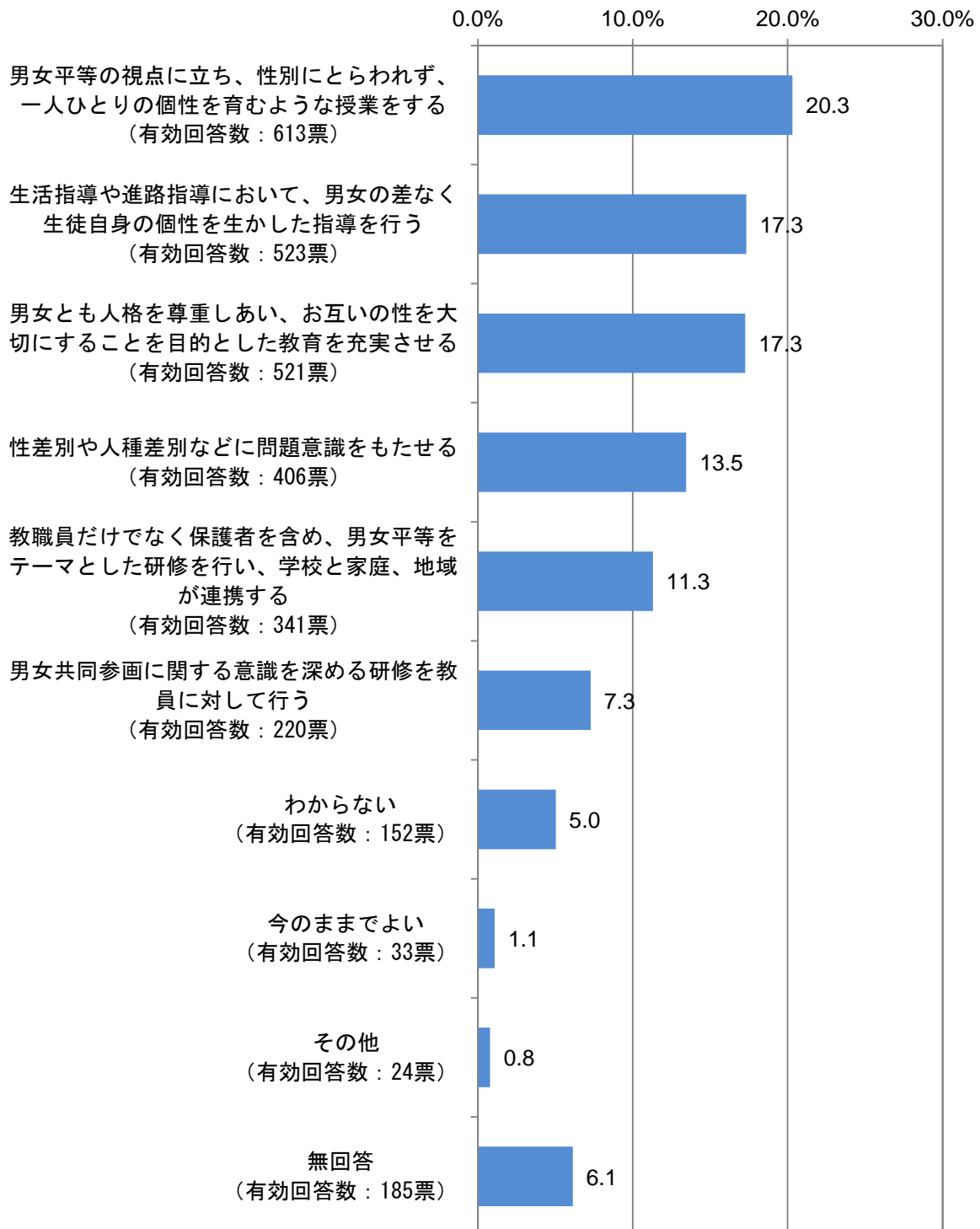
問 18 結婚(事実婚を含む)をし、同居している方のみお答えください。あなたの家では次にあげる仕事等は、どなたの役割になっていますか。



### 3. 子育てと教育について

問 19 学校教育の中で、男女共同参画意識を深めるために何が大切だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)



問 19 学校教育の中で、男女共同参画意識を深めるために何が大切だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

【性別・年齢別ランキング】

(単位:%)

	1 位	2 位	3 位
男性 (有効回答数: 1228 票)	男女平等の視点に立ち、性別にとらわれず、一人ひとりの個性を育むような授業をする 19.1	男女とも人格を尊重しあい、お互いの性を大切にすることを目的とした教育を充実させる 17.2	生活指導や進路指導において、男女の差なく生徒自身の個性を生かした指導を行う 15.7
女性 (有効回答数: 1776 票)	男女平等の視点に立ち、性別にとらわれず、一人ひとりの個性を育むような授業をする 21.2	生活指導や進路指導において、男女の差なく生徒自身の個性を生かした指導を行う 18.4	男女とも人格を尊重しあい、お互いの性を大切にすることを目的とした教育を充実させる 17.3

※無回答は順位から省いています

	1 位	2 位	3 位
10 歳代 (有効回答数:93 票)	男女平等の視点に立ち、性別にとらわれず、一人ひとりの個性を育むような授業をする 25.8	生活指導や進路指導において、男女の差なく生徒自身の個性を生かした指導を行う 19.4	男女とも人格を尊重しあい、お互いの性を大切にすることを目的とした教育を充実させる 19.4
20 歳代 (有効回答数: 202 票)	男女平等の視点に立ち、性別にとらわれず、一人ひとりの個性を育むような授業をする 27.2	生活指導や進路指導において、男女の差なく生徒自身の個性を生かした指導を行う 19.3	性差別や人種差別などに問題意識をもたせる 15.8
30 歳代 (有効回答数: 266 票)	男女平等の視点に立ち、性別にとらわれず、一人ひとりの個性を育むような授業をする 22.9	男女とも人格を尊重しあい、お互いの性を大切にすることを目的とした教育を充実させる 20.7	生活指導や進路指導において、男女の差なく生徒自身の個性を生かした指導を行う 18.8
40 歳代 (有効回答数: 472 票)	男女平等の視点に立ち、性別にとらわれず、一人ひとりの個性を育むような授業をする 21.0	男女とも人格を尊重しあい、お互いの性を大切にすることを目的とした教育を充実させる 19.7	生活指導や進路指導において、男女の差なく生徒自身の個性を生かした指導を行う 17.8
50 歳代 (有効回答数: 538 票)	男女とも人格を尊重しあい、お互いの性を大切にすることを目的とした教育を充実させる 19.1	男女平等の視点に立ち、性別にとらわれず、一人ひとりの個性を育むような授業をする 18.6	生活指導や進路指導において、男女の差なく生徒自身の個性を生かした指導を行う 16.7
60 歳代 (有効回答数: 841 票)	男女平等の視点に立ち、性別にとらわれず、一人ひとりの個性を育むような授業をする 20.0	生活指導や進路指導において、男女の差なく生徒自身の個性を生かした指導を行う 16.8	男女とも人格を尊重しあい、お互いの性を大切にすることを目的とした教育を充実させる 15.9
70 歳以上 (有効回答数: 594 票)	男女平等の視点に立ち、性別にとらわれず、一人ひとりの個性を育むような授業をする 17.5	生活指導や進路指導において、男女の差なく生徒自身の個性を生かした指導を行う 16.7	男女とも人格を尊重しあい、お互いの性を大切にすることを目的とした教育を充実させる 14.5

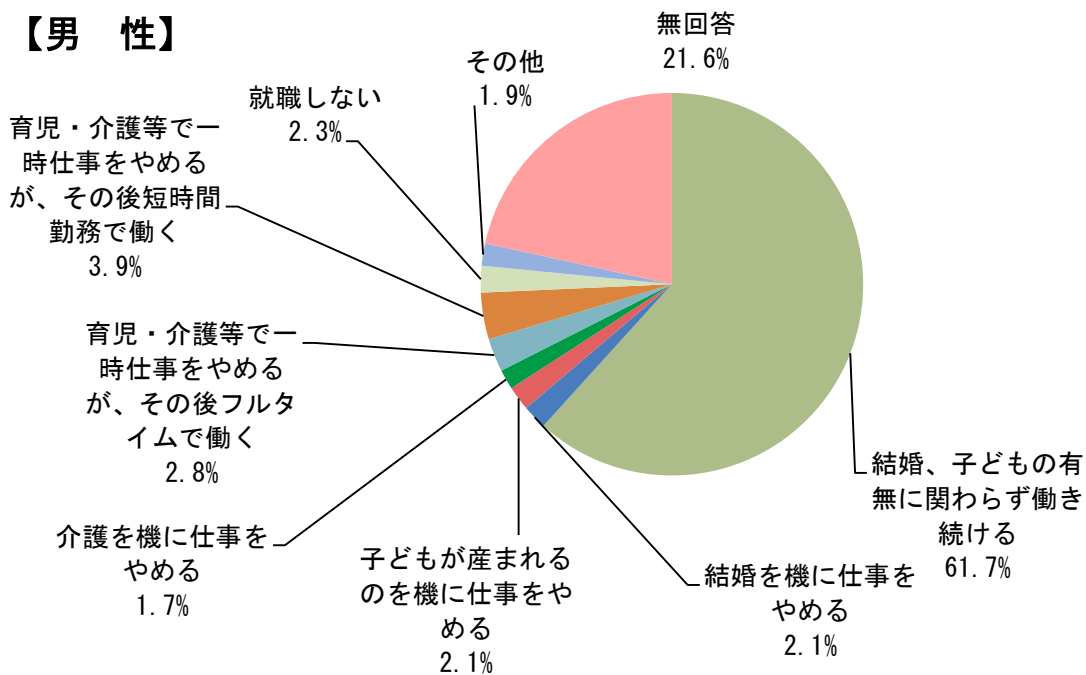
## 4. 労働について

問 20 ご自身と配偶者の働き方について、理想と現実はどうですか。ア～エについて、それぞれ下の選択肢からひとつ選び、番号を記入してください。その他の場合は具体的な内容をご記入願います。

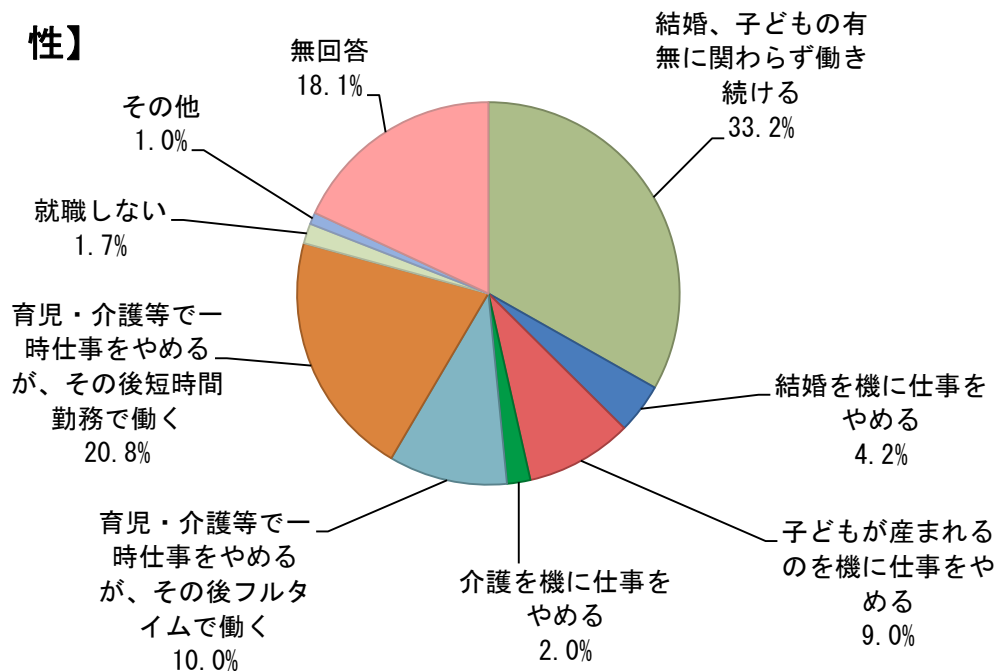
※結婚されていない方は、結婚しているものと想定してお答えください。

ア あなた自身の働き方として、理想とする形はどれですか。

### 【男 性】



### 【女 性】



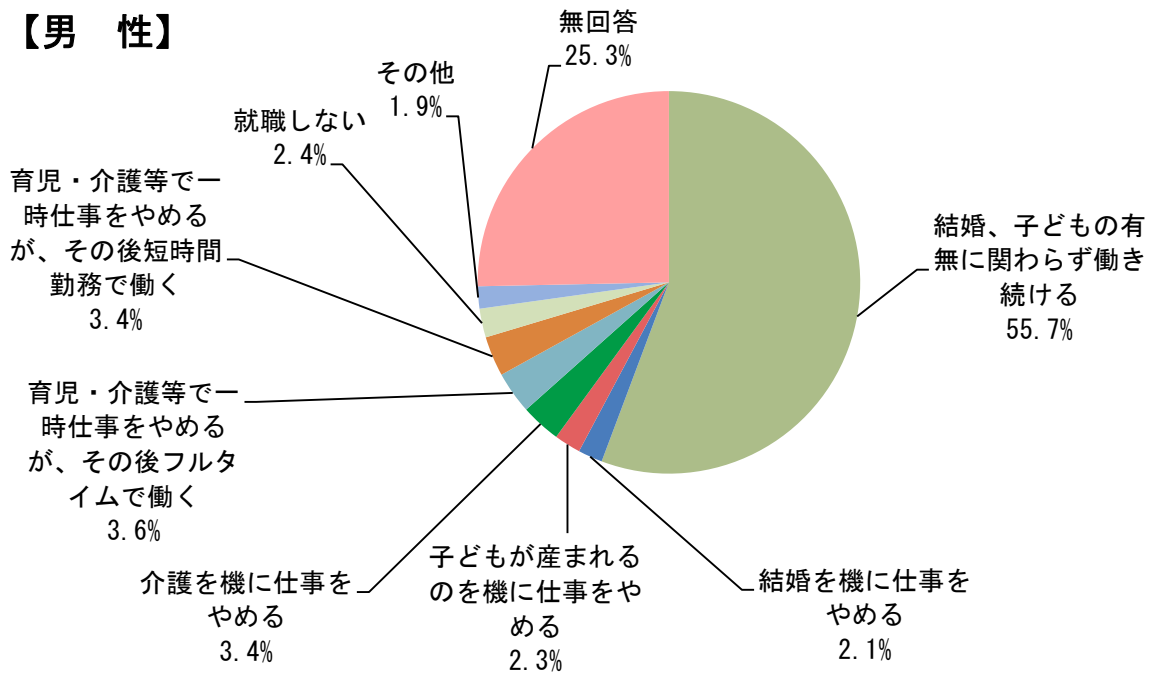
計:1,250人

問 20 ご自身と配偶者の働き方について、理想と現実はどうですか。ア～エについて、それぞれ下の選択肢からひとつ選び、番号を記入してください。その他の場合は具体的な内容をご記入願います。

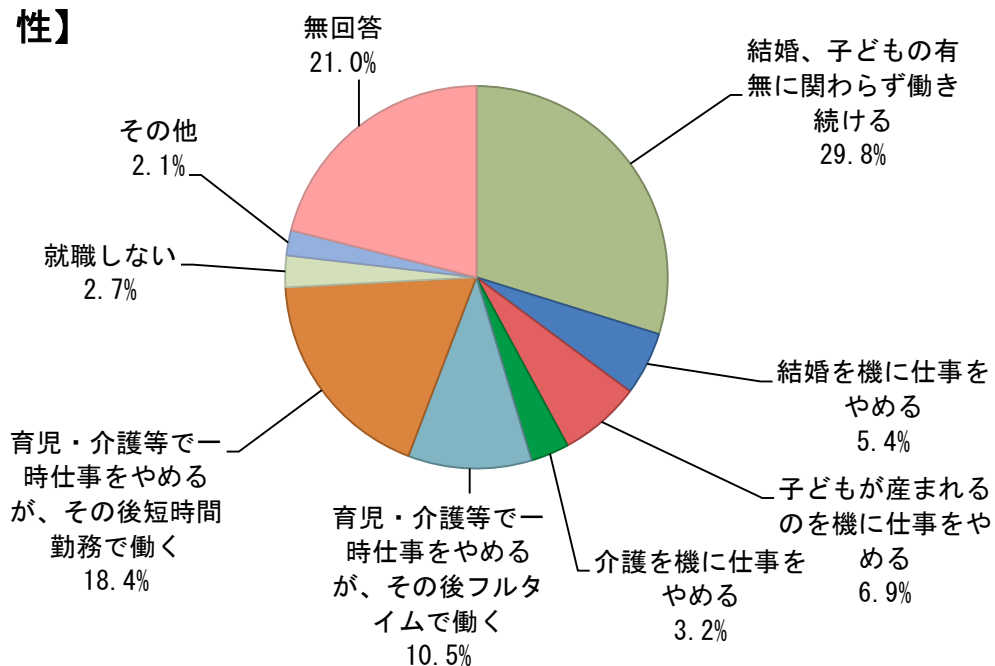
※結婚されていない方は、結婚しているものと想定してお答えください。

イ あなた自身の働き方で現実に当てはまるもの（当てはまると予想されるもの）はどれですか。

### 【男 性】



### 【女 性】



計:1,250人

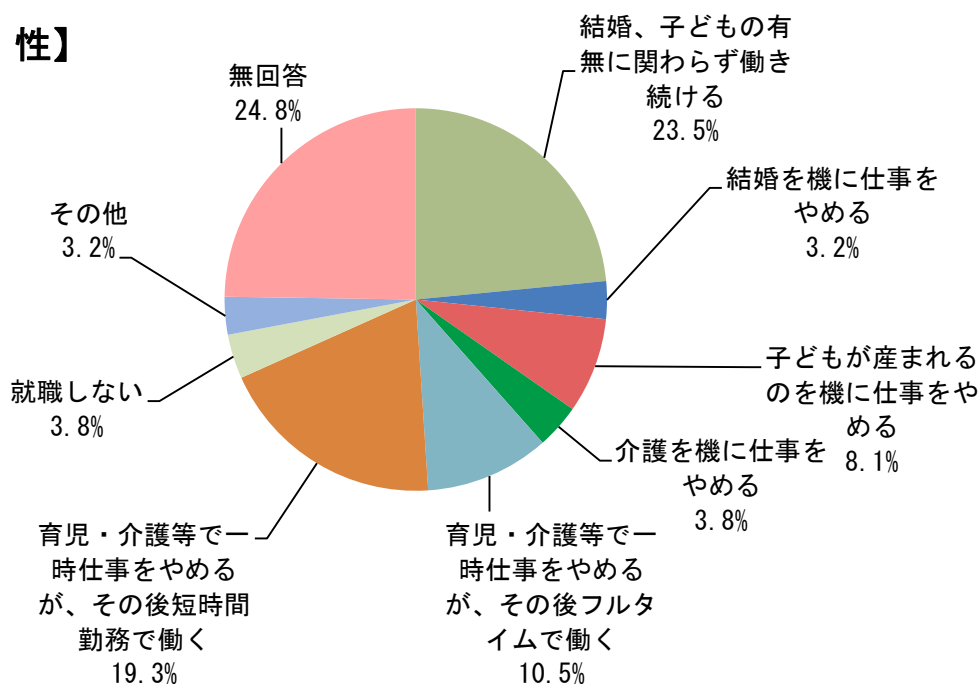


問 20 ご自身と配偶者の働き方について、理想と現実はどうですか。ア～エについて、それぞれ下の選択肢からひとつ選び、番号を記入してください。その他の場合は具体的な内容をご記入願います。

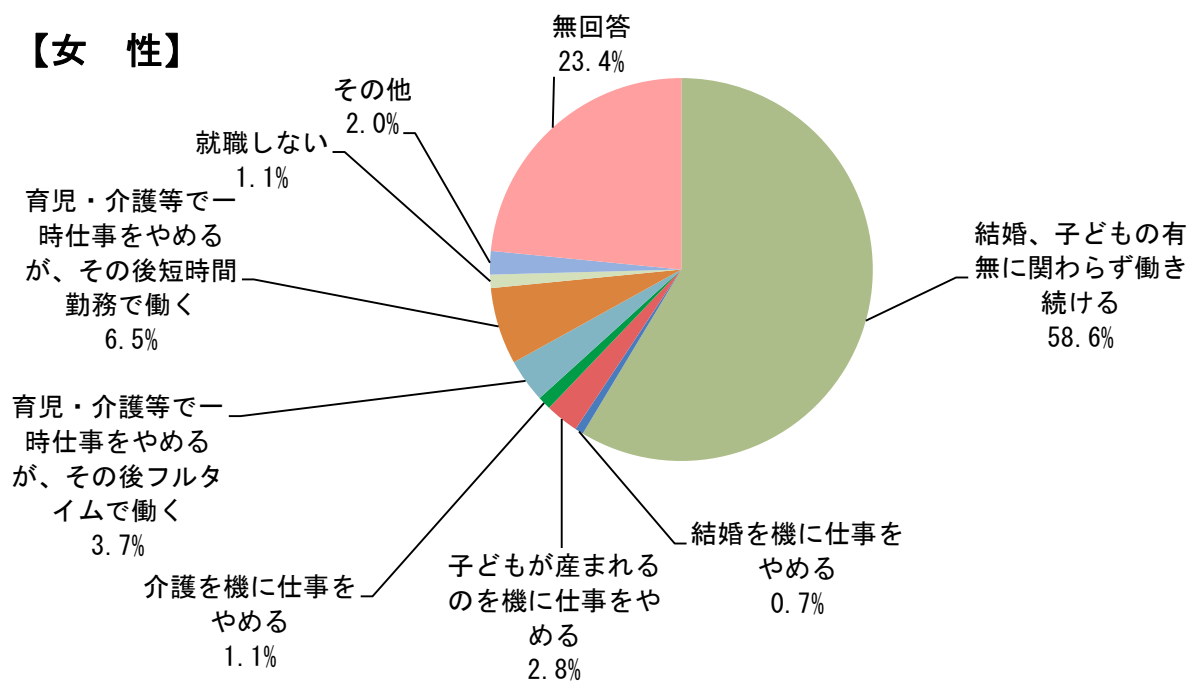
※結婚されていない方は、結婚しているものと想定してお答えください。

ウ あなたの配偶者に望む理想的な働き方はどれですか。

### 【男 性】



### 【女 性】



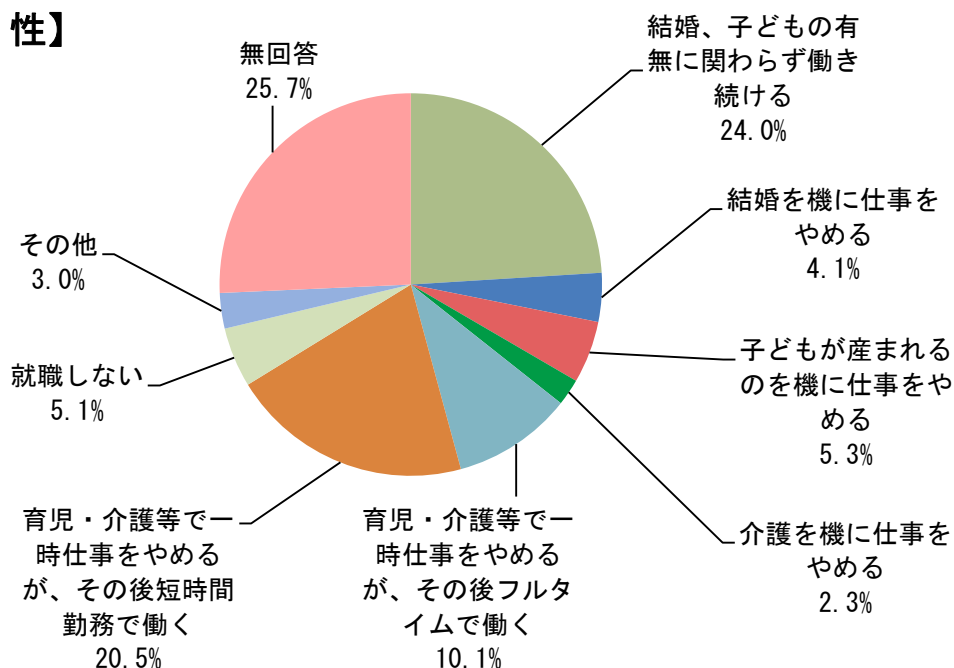
計:1,250人

問 20 ご自身と配偶者の働き方について、理想と現実はどうですか。ア～エについて、それぞれ下の選択肢からひとつ選び、番号を記入してください。その他の場合は具体的な内容をご記入願います。

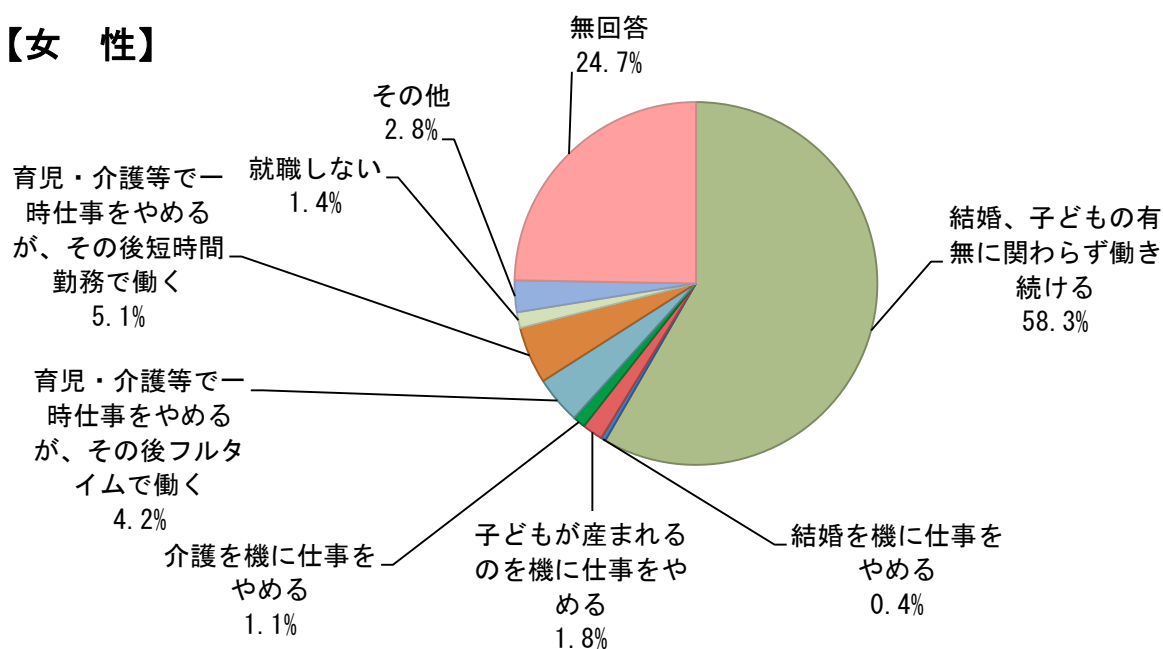
※結婚されていない方は、結婚しているものと想定してお答えください。

エ あなたの配偶者の働き方で現実に当てはまるもの（当てはまると予想されるもの）はどれですか。

### 【男 性】



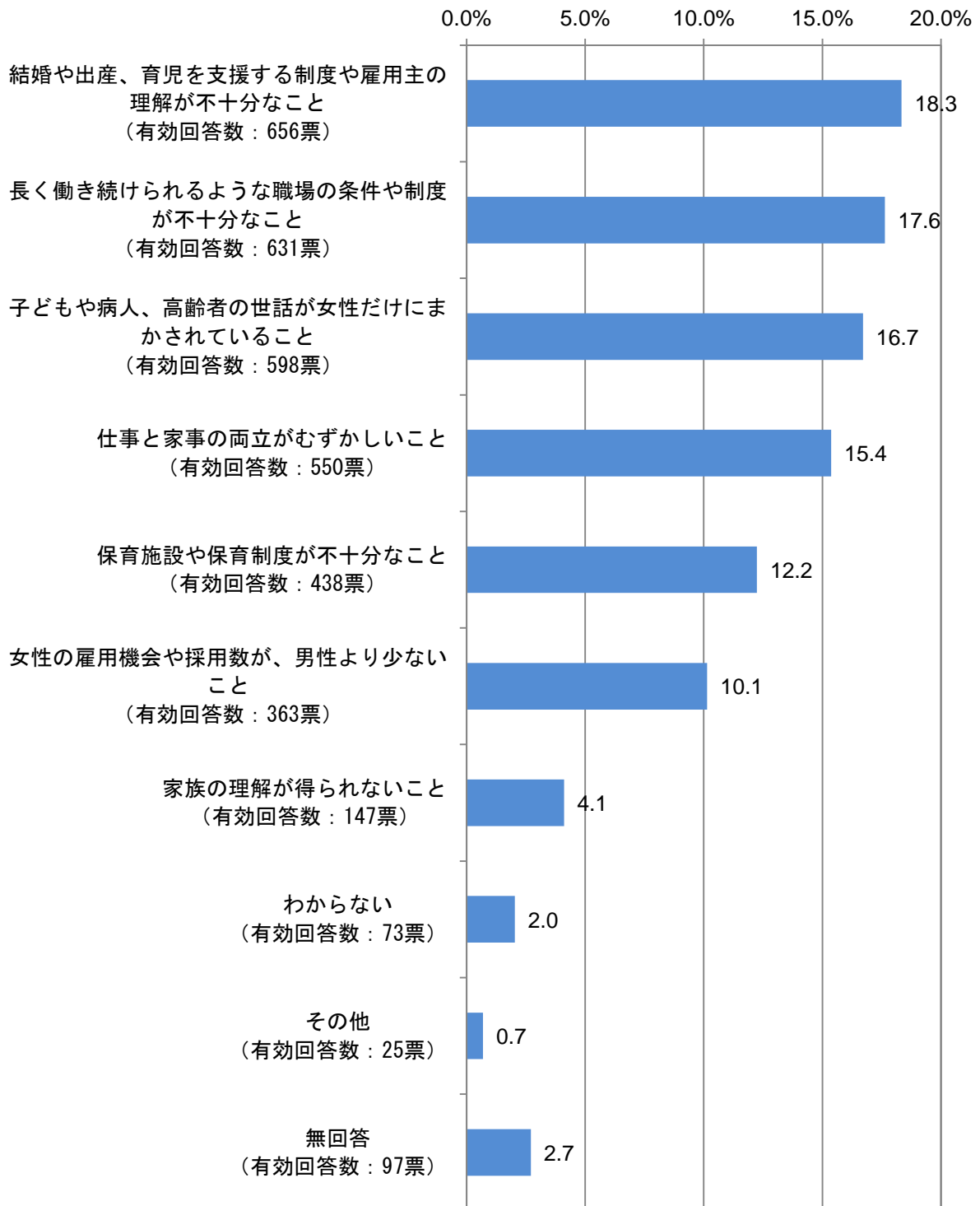
### 【女 性】



計:1,250人

問 21 女性が仕事をもち続けるうえで、障害となっているものは何だと思えますか。

(あてはまるものすべてに○)



問 21 女性が仕事をもち続けるうえで、障害となっているものは何だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

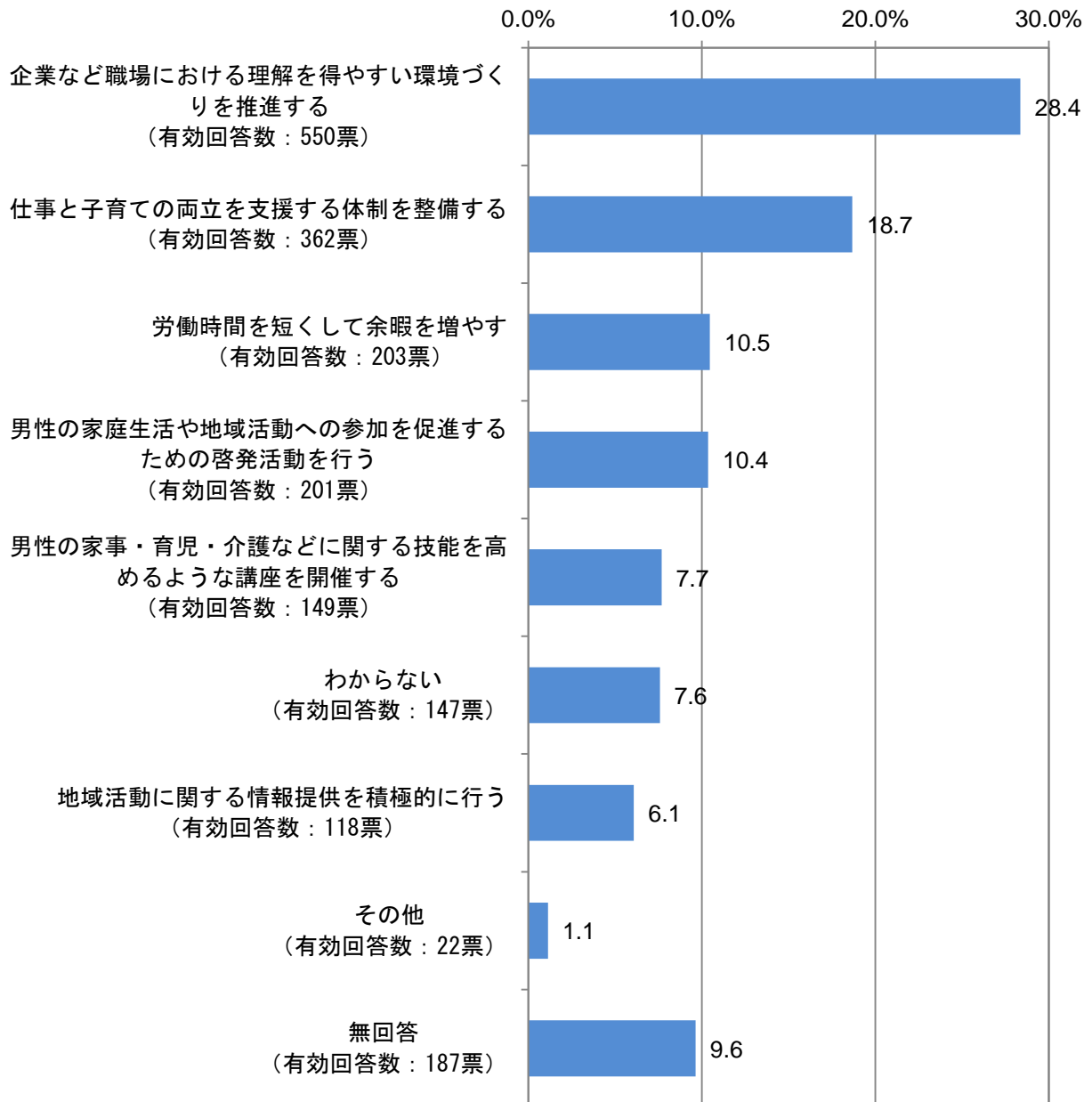
【性別・年齢別ランキング】

(単位:%)

	1 位	2 位	3 位
男性 (有効回答数: 1451 票)	結婚や出産、育児を支援する制度や雇用主の理解が不十分なこと 19.2	長く働き続けられるような職場の条件や制度が不十分なこと 17.8	仕事と家事の両立がむずかしいこと 15.9
女性 (有効回答数: 2104 票)	子どもや病人、高齢者の世話が女性だけにまかされていること 18.6	結婚や出産、育児を支援する制度や雇用主の理解が不十分なこと 17.8	長く働き続けられるような職場の条件や制度が不十分なこと 17.5

	1 位	2 位	3 位
10 歳代 (有効回答数 110 票)	結婚や出産、育児を支援する制度や雇用主の理解が不十分なこと 20.0	保育施設や保育制度が不十分なこと 17.3	長く働き続けられるような職場の条件や制度が不十分なこと 16.4
20 歳代 (有効回答数 295 票)	結婚や出産、育児を支援する制度や雇用主の理解が不十分なこと 18.6	保育施設や保育制度が不十分なこと 18.6	長く働き続けられるような職場の条件や制度が不十分なこと 15.9
30 歳代 (有効回答数 340 票)	結婚や出産、育児を支援する制度や雇用主の理解が不十分なこと 19.1	長く働き続けられるような職場の条件や制度が不十分なこと 17.9	仕事と家事の両立がむずかしいこと 17.6
40 歳代 (有効回答数 599 票)	仕事と家事の両立がむずかしいこと 19.4	結婚や出産、育児を支援する制度や雇用主の理解が不十分なこと 18.2	長く働き続けられるような職場の条件や制度が不十分なこと 17.5
50 歳代 (有効回答数 649 票)	長く働き続けられるような職場の条件や制度が不十分なこと 18.5	結婚や出産、育児を支援する制度や雇用主の理解が不十分なこと 18.3	子どもや病人、高齢者の世話が女性だけにまかされていること 17.7
60 歳代 (有効回答数 930 票)	結婚や出産、育児を支援する制度や雇用主の理解が不十分なこと 19.2	長く働き続けられるような職場の条件や制度が不十分なこと 19.0	子どもや病人、高齢者の世話が女性だけにまかされていること 18.4
70 歳以上 (有効回答数 643 票)	結婚や出産、育児を支援する制度や雇用主の理解が不十分なこと 16.3	長く働き続けられるような職場の条件や制度が不十分なこと 15.7	子どもや病人、高齢者の世話が女性だけにまかされていること 15.7

問 22 これまで男性は、比較的家庭生活(家事・育児・介護等)や地域活動への参加が少なかったと言われていますが、男性の参加を促進するためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
(〇は2つまで)



問 22 これまで男性は、比較的家庭生活(家事・育児・介護等)や地域活動への参加が少なかったと言われていますが、男性の参加を促進するためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
(○は2つまで)

【性別・年齢別ランキング】

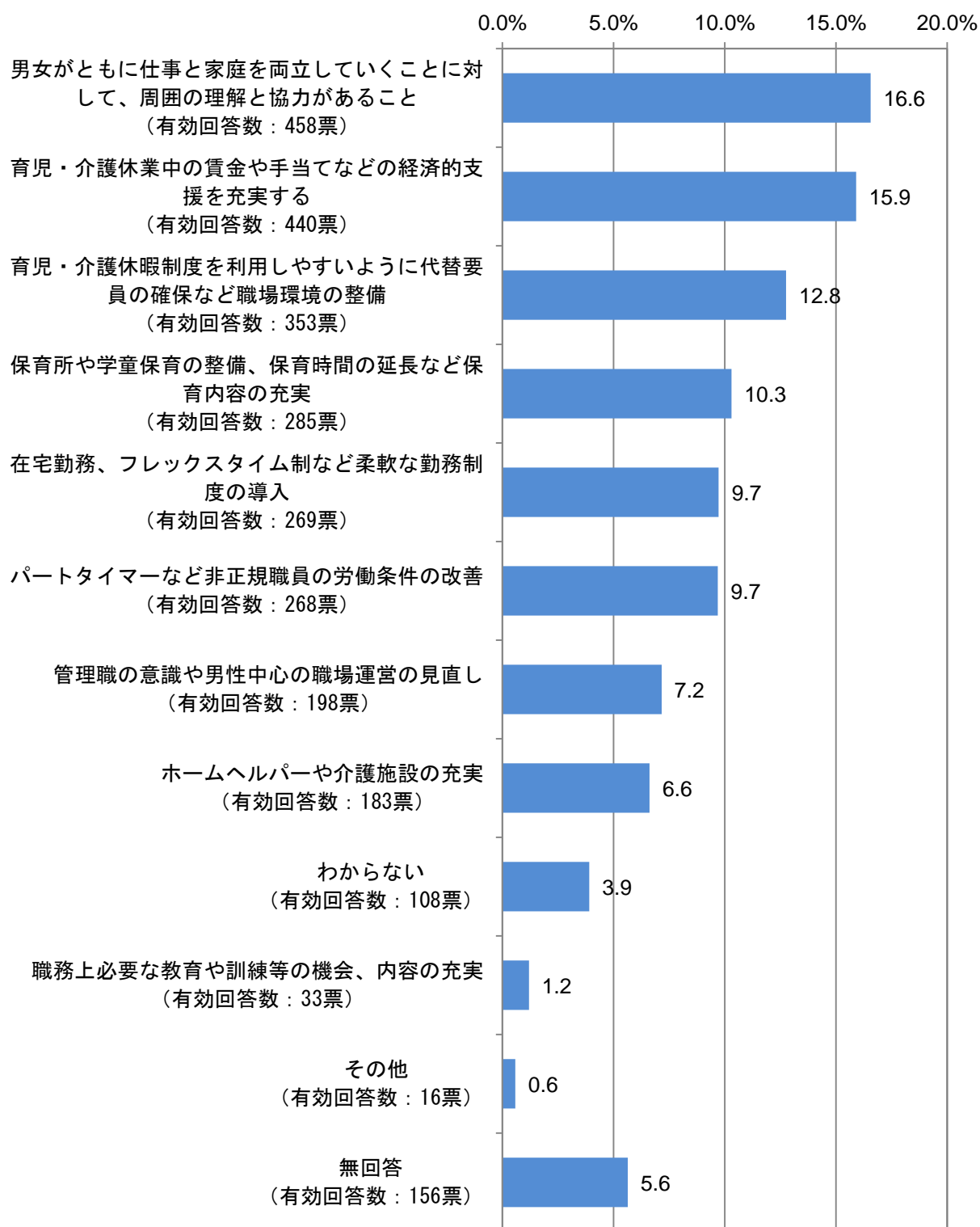
(単位:%)

	1 位	2 位	3 位
男性 (有効回答数: 845 票)	企業など職場における理解を得やすい環境づくりを推進する	仕事と子育ての両立を支援する体制を整備する	労働時間を短くして余暇を増やす
	27.2	16.1	15.0
女性 (有効回答数: 1081 票)	企業など職場における理解を得やすい環境づくりを推進する	仕事と子育ての両立を支援する体制を整備する	男性の家庭生活や地域活動への参加を促進するための啓発活動を行う
	29.2	20.8	10.5

※無回答は順位から省いています

	1 位	2 位	3 位
10 歳代 (有効回答数 69 票)	企業など職場における理解を得やすい環境づくりを推進する	仕事と子育ての両立を支援する体制を整備する	労働時間を短くして余暇を増やす
	29.0	27.5	17.4
20 歳代 (有効回答数 150 票)	企業など職場における理解を得やすい環境づくりを推進する	仕事と子育ての両立を支援する体制を整備する	労働時間を短くして余暇を増やす
	28.0	26.7	12.0
30 歳代 (有効回答数 178 票)	企業など職場における理解を得やすい環境づくりを推進する	仕事と子育ての両立を支援する体制を整備する	労働時間を短くして余暇を増やす
	34.3	28.1	10.1
40 歳代 (有効回答数 310 票)	企業など職場における理解を得やすい環境づくりを推進する	仕事と子育ての両立を支援する体制を整備する	労働時間を短くして余暇を増やす
	34.5	19.7	14.2
50 歳代 (有効回答数 328 票)	企業など職場における理解を得やすい環境づくりを推進する	仕事と子育ての両立を支援する体制を整備する	男性の家庭生活や地域活動への参加を促進するための啓発活動を行う
	31.1	16.2	12.8
60 歳代 (有効回答数 511 票)	企業など職場における理解を得やすい環境づくりを推進する	仕事と子育ての両立を支援する体制を整備する	男性の家庭生活や地域活動への参加を促進するための啓発活動を行う
	29.2	16.6	11.2
70 歳以上 (有効回答数 385 票)	企業など職場における理解を得やすい環境づくりを推進する	仕事と子育ての両立を支援する体制を整備する	男性の家庭生活や地域活動への参加を促進するための啓発活動を行う
	17.4	13.8	12.7

問 23 あなたは、男女ともに「仕事と仕事以外の生活の調和」をはかり、充実した生活を送るために、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）



問 23 あなたは、男女ともに「仕事と仕事以外の生活の調和」をはかり、充実した生活を送るために、  
 どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

【性別・年齢別ランキング】

(単位:%)

	1 位	2 位	3 位
男性 (有効回答数: 1180 票)	育児・介護休業中の賃金 や手当などの経済的 支援を充実する 16.4	男女がともに仕事と家庭を 両立していくことに対して、 周囲の理解と協力がある こと 14.2	育児・介護休暇制度を 利用しやすいように代替 要員の確保など職場環 境の整備 13.5
女性 (有効回答数: 1567 票)	男女がともに仕事と家庭 を両立していくことに対 して、周囲の理解と協力が あること 18.4	育児・介護休業中の賃金 や手当などの経済的支 援を充実する 15.5	育児・介護休暇制度を 利用しやすいように代替 要員の確保など職場環 境の整備 12.3

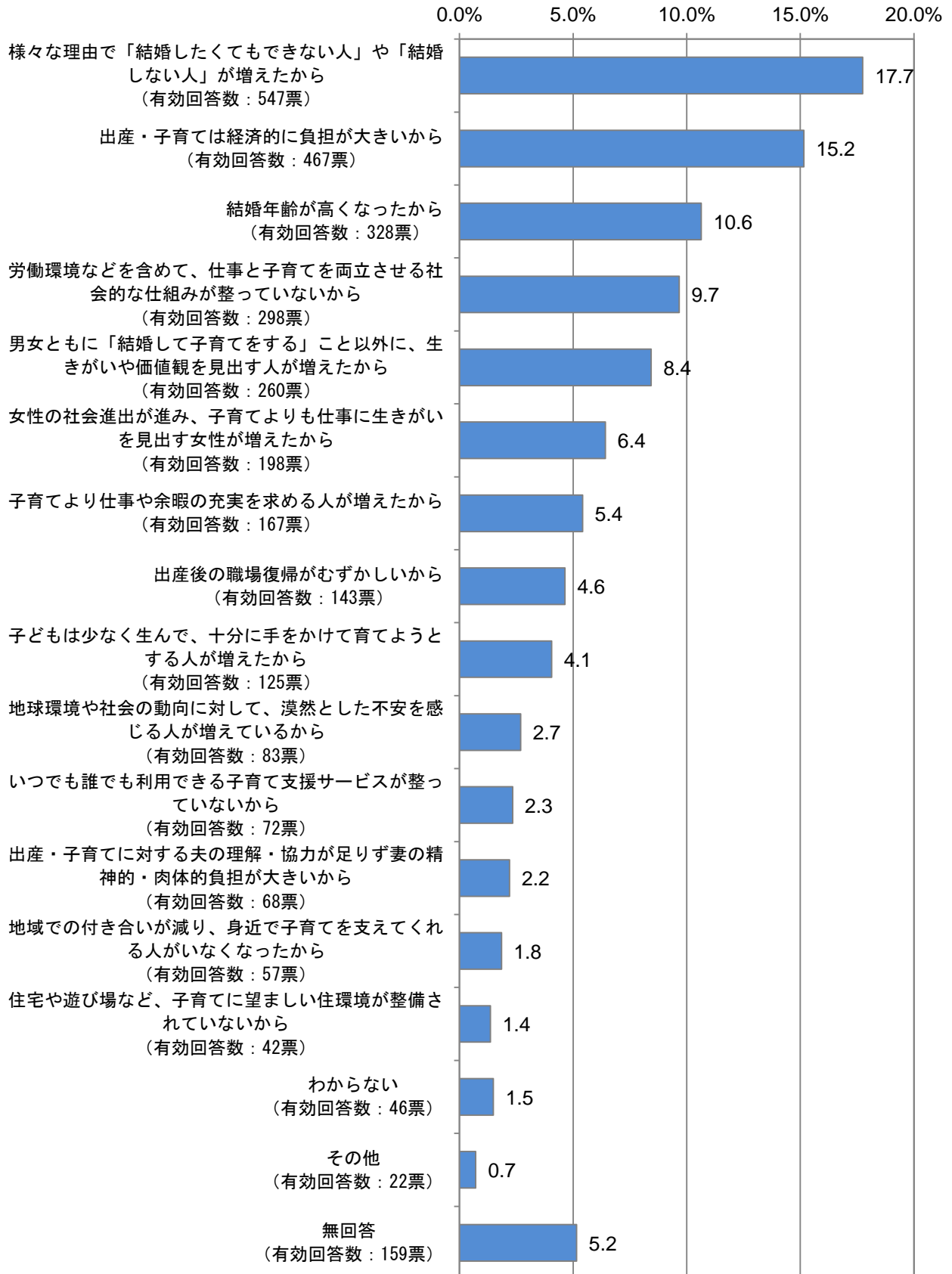
※無回答は順位から省いています

	1 位	2 位	3 位
10 歳代 (有効回答数 97 票)	育児・介護休業中の賃金 や手当などの経済的 支援を充実する 21.6	保育所や学童保育の整 備、保育時間の延長など 保育内容の充実 14.4	パートタイマーなど非正 規職員の労働条件の改 善 14.4
20 歳代 (有効回答数 223 票)	育児・介護休業中の賃金 や手当などの経済的 支援を充実する 17.5	育児・介護休暇制度を利用 しやすいように代替要員 の確保など職場環境の整 備 15.7	男女がともに仕事と家庭 を両立していくことに対 して、周囲の理解と協力が あること 15.2
30 歳代 (有効回答数 273 票)	育児・介護休業中の賃金 や手当などの経済的 支援を充実する 19.8	育児・介護休暇制度を利用 しやすいように代替要員 の確保など職場環境の整 備 16.1	男女がともに仕事と家庭 を両立していくことに対 して、周囲の理解と協力が あること 13.9
40 歳代 (有効回答数 443 票)	男女がともに仕事と家庭 を両立していくことに対 して、周囲の理解と協力が あること 17.8	育児・介護休業中の賃金 や手当などの経済的支 援を充実する 16.3	育児・介護休暇制度を 利用しやすいように代替 要員の確保など職場環 境の整備 14.4
50 歳代 (有効回答数 475 票)	男女がともに仕事と家庭 を両立していくことに対 して、周囲の理解と協力が あること 17.9	育児・介護休業中の賃金 や手当などの経済的支 援を充実する 15.6	在宅勤務、フレックス タイム制など柔軟な勤務 制度の導入 11.2
60 歳代 (有効回答数 729 票)	男女がともに仕事と家庭 を両立していくことに対 して、周囲の理解と協力が あること 17.6	育児・介護休業中の賃金 や手当などの経済的支 援を充実する 15.0	育児・介護休暇制度を 利用しやすいように代替 要員の確保など職場環 境の整備 11.4
70 歳以上 (有効回答数 516 票)	男女がともに仕事と家庭 を両立していくことに対 して、周囲の理解と協力が あること 15.3	育児・介護休業中の賃金 や手当などの経済的支 援を充実する 13.0	育児・介護休暇制度を 利用しやすいように代替 要員の確保など職場環 境の整備 12.2



## 5. 少子化対策について

問 24 出生率が低くなった主な原因として何が考えられると思いますか。(○は3つまで)



問 24 出生率が低くなった主な原因として何が考えられると思いますか。(○は3つまで)

【性別・年齢別ランキング】

(単位:%)

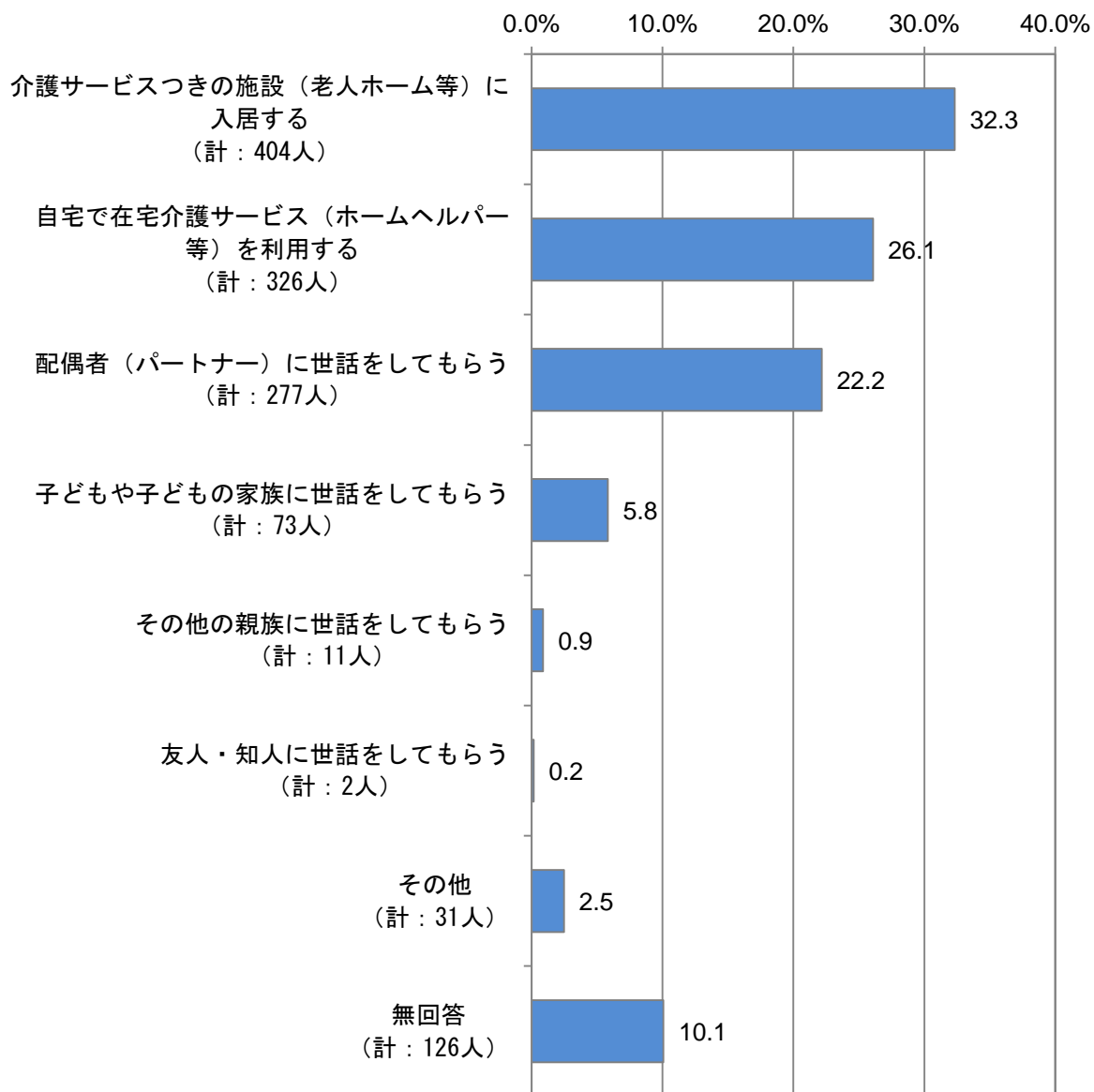
	1 位	2 位	3 位
男性 (有効回答数: 1366 票)	様々な理由で「結婚したくてもできない人」や「結婚しない人」が増えたから	出産・子育ては経済的に負担が大きいから	結婚年齢が高くなったから
	16.6	15.2	10.7
女性 (有効回答数: 1915 票)	様々な理由で「結婚したくてもできない人」や「結婚しない人」が増えたから	出産・子育ては経済的に負担が大きいから	結婚年齢が高くなったから
	18.1	14.9	10.5

※無回答は順位から省いています

	1 位	2 位	3 位
10 歳代 (有効回答数 106 票)	出産・子育ては経済的に負担が大きいから	様々な理由で「結婚したくてもできない人」や「結婚しない人」が増えたから	労働環境などを含めて、仕事と子育てを両立させる社会的な仕組みが整っていないから
	20.8	15.1	12.3
20 歳代 (有効回答数 256 票)	様々な理由で「結婚したくてもできない人」や「結婚しない人」が増えたから	出産・子育ては経済的に負担が大きいから	男女ともに「結婚して子育てをする」こと以外に、生きがいや価値観を見出す人が増えたから
	16.8	16.0	11.3
30 歳代 (有効回答数 309 票)	様々な理由で「結婚したくてもできない人」や「結婚しない人」が増えたから	出産・子育ては経済的に負担が大きいから	労働環境などを含めて、仕事と子育てを両立させる社会的な仕組みが整っていないから
	16.5	15.5	11.3
40 歳代 (有効回答数 528 票)	様々な理由で「結婚したくてもできない人」や「結婚しない人」が増えたから	出産・子育ては経済的に負担が大きいから	結婚年齢が高くなったから
	16.3	15.9	12.3
50 歳代 (有効回答数 592 票)	様々な理由で「結婚したくてもできない人」や「結婚しない人」が増えたから	出産・子育ては経済的に負担が大きいから	男女ともに「結婚して子育てをする」こと以外に、生きがいや価値観を見出す人が増えたから
	17.1	16.9	10.1
60 歳代 (有効回答数 877 票)	様々な理由で「結婚したくてもできない人」や「結婚しない人」が増えたから	出産・子育ては経済的に負担が大きいから	結婚年齢が高くなったから
	19.3	15.5	12.2
70 歳以上 (有効回答数 622 票)	様々な理由で「結婚したくてもできない人」や「結婚しない人」が増えたから	結婚年齢が高くなったから	出産・子育ては経済的に負担が大きいから
	17.5	10.6	10.5

問25 あなたが、もし介護が必要になった時は主にどうしたいと思いますか。該当する番号ひとつに○をつけてください。

※現在既に介護を受けている方もお答えください。



計：1,250人

問25 あなたが、もし介護が必要になった時は主にどうしたいと思いますか。該当する番号ひとつに○をつけてください。

※現在既に介護を受けている方もお答えください。

【性別・年齢別ランキング】

(単位:%)

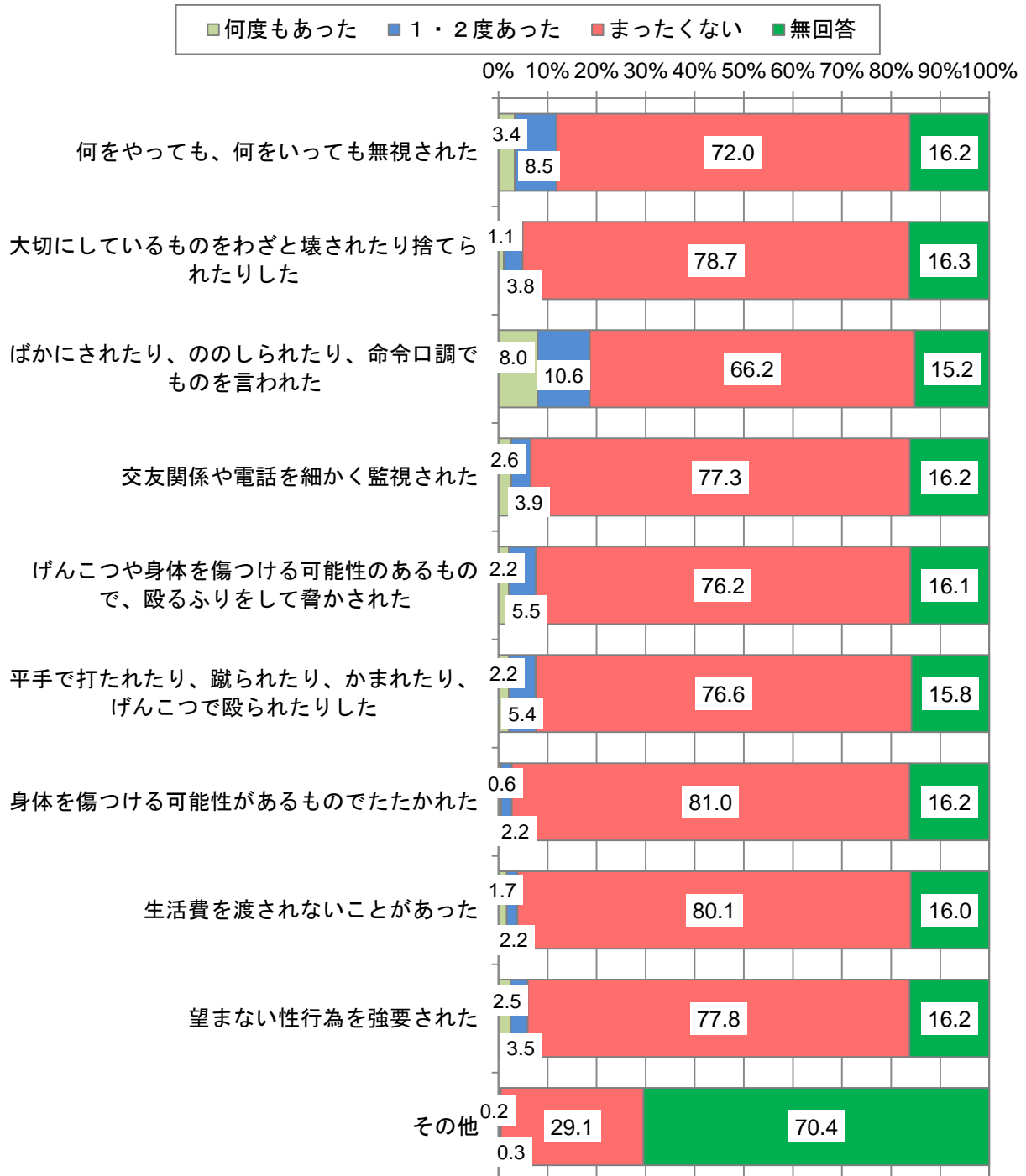
	1位	2位	3位	4位
男性 (計:533人)	配偶者(パートナー)に世話をしてもらう	介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する	自宅で在宅介護サービス(ホームヘルパー等)を利用する	子どもや子どもの家族に世話をしてもらう
	34.1	27.6	19.5	5.3
女性 (計:708人)	介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する	自宅で在宅介護サービス(ホームヘルパー等)を利用する	配偶者(パートナー)に世話をしてもらう	子どもや子どもの家族に世話をしてもらう
	35.7	30.9	13.4	6.4

※無回答は順位から省いています

	1位	2位	3位	4位
10歳代 (計45人)	自宅で在宅介護サービス(ホームヘルパー等)を利用する	配偶者(パートナー)に世話をしてもらう	介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する	子どもや子どもの家族に世話をしてもらう
	28.9	26.7	22.2	13.3
20歳代 (計96人)	介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する	配偶者(パートナー)に世話をしてもらう	自宅で在宅介護サービス(ホームヘルパー等)を利用する	子どもや子どもの家族に世話をしてもらう
	37.5	24.0	20.8	8.3
30歳代 (計114人)	介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する	自宅で在宅介護サービス(ホームヘルパー等)を利用する	配偶者(パートナー)に世話をしてもらう	子どもや子どもの家族に世話をしてもらう
	36.0	22.8	21.1	6.1
40歳代 (計191人)	介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する	自宅で在宅介護サービス(ホームヘルパー等)を利用する	配偶者(パートナー)に世話をしてもらう	子どもや子どもの家族に世話をしてもらう
	37.2	28.8	20.4	5.2
50歳代 (計207人)	介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する	自宅で在宅介護サービス(ホームヘルパー等)を利用する	配偶者(パートナー)に世話をしてもらう	子どもや子どもの家族に世話をしてもらう
	37.2	28.0	19.3	2.4
60歳代 (計328人)	介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する	配偶者(パートナー)に世話をしてもらう	自宅で在宅介護サービス(ホームヘルパー等)を利用する	子どもや子どもの家族に世話をしてもらう
	33.8	24.7	24.1	4.3
70歳以上 (計263人)	自宅で在宅介護サービス(ホームヘルパー等)を利用する	配偶者(パートナー)に世話をしてもらう	介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する	子どもや子どもの家族に世話をしてもらう
	27.8	22.1	20.9	8.7

## 6. ドメスティック・バイオレンス（DV）について

問 26 親密な関係にあるパートナーからの暴力が問題になっています。パートナーから次のようなことを受けたことがありますか。

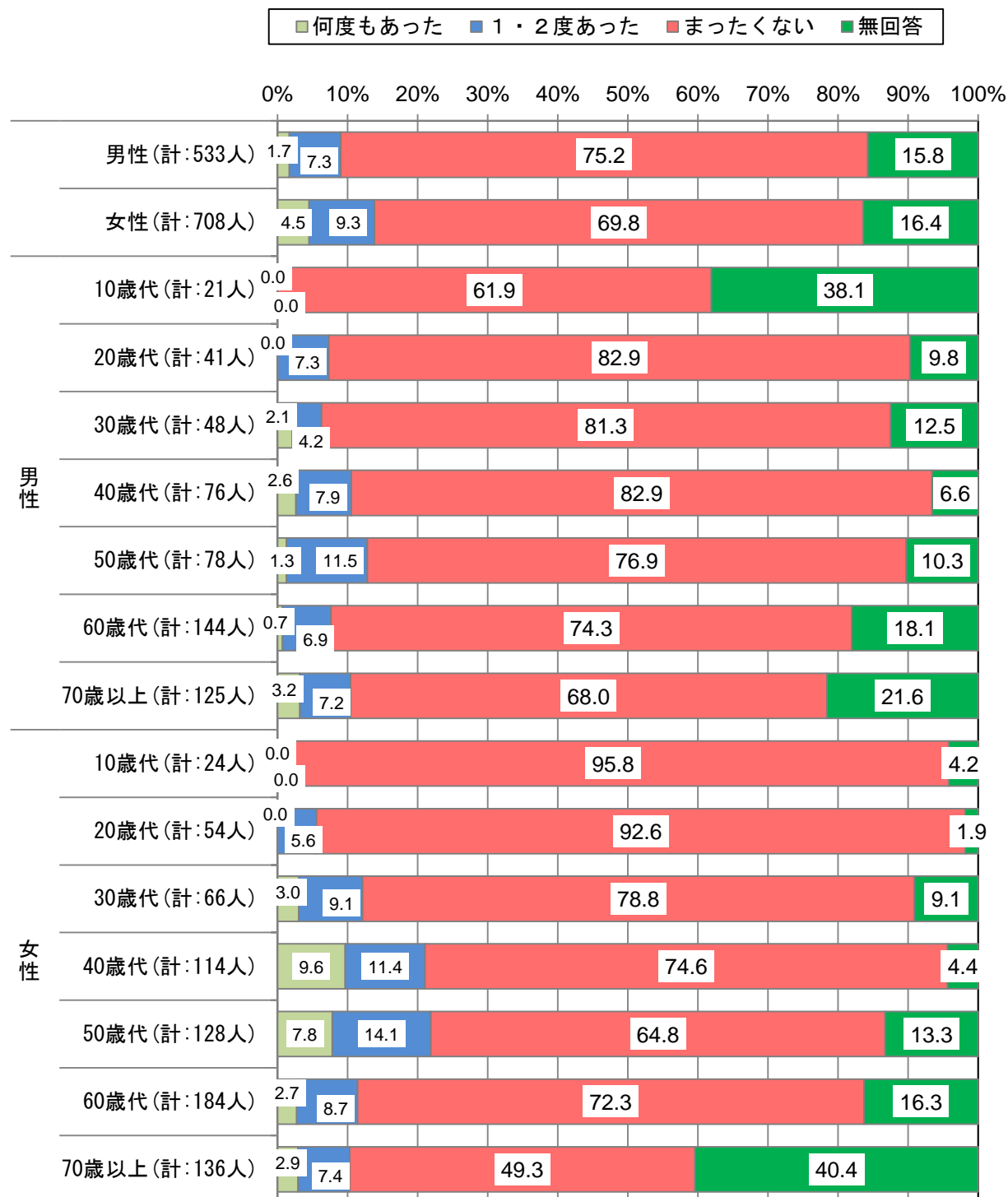


計: 1,250 人

問 26 親密な関係にあるパートナーからの暴力が問題になっています。パートナーから次のようなことを受けたことがありますか。

(ア) 何をやっても、何をいっても無視された

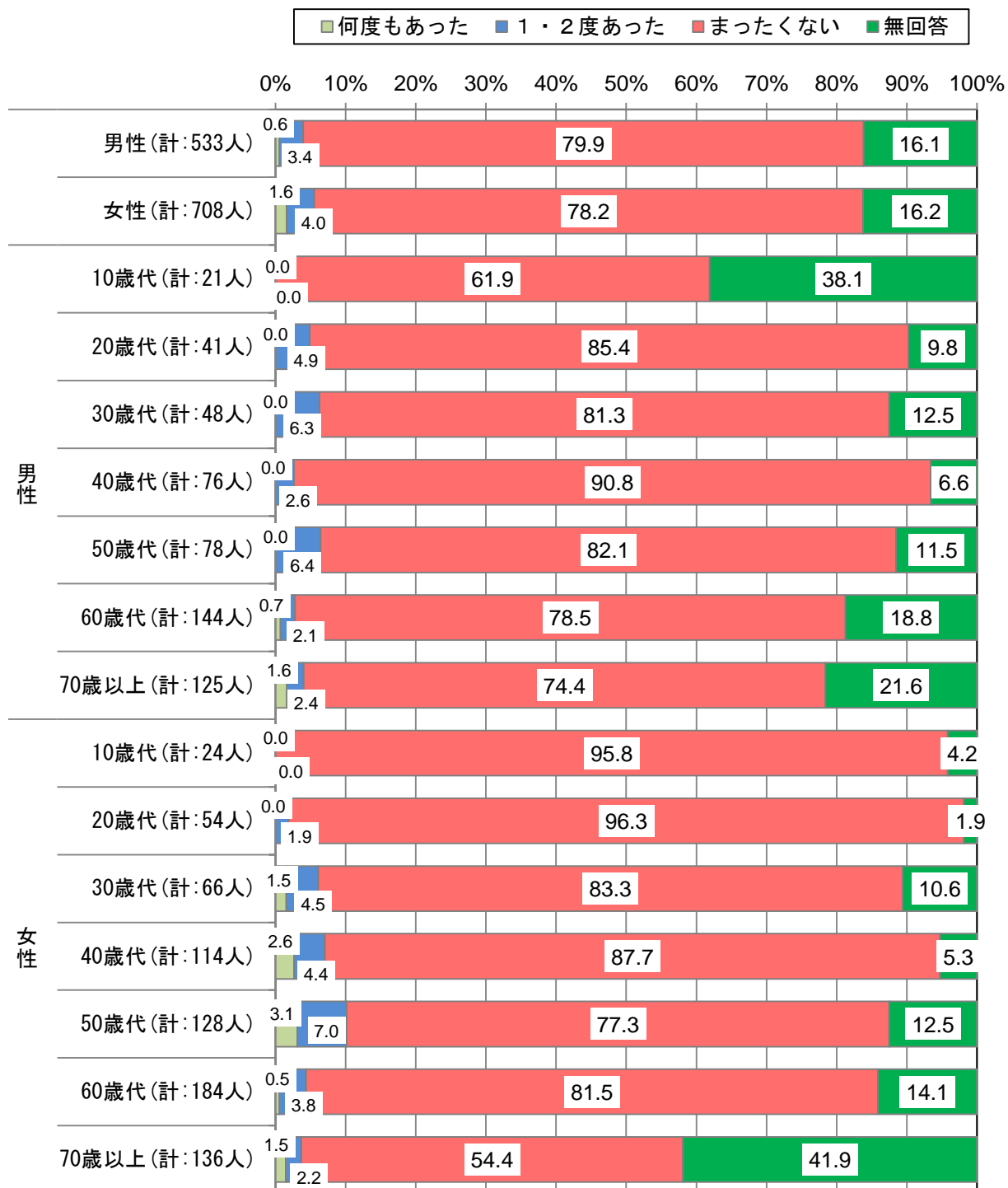
【性別・年齢別】



問 26 親密な関係にあるパートナーからの暴力が問題になっています。パートナーから次のようなことを受けたことがありますか。

(イ) 大切にしているものをわざと壊されたり捨てられたりした

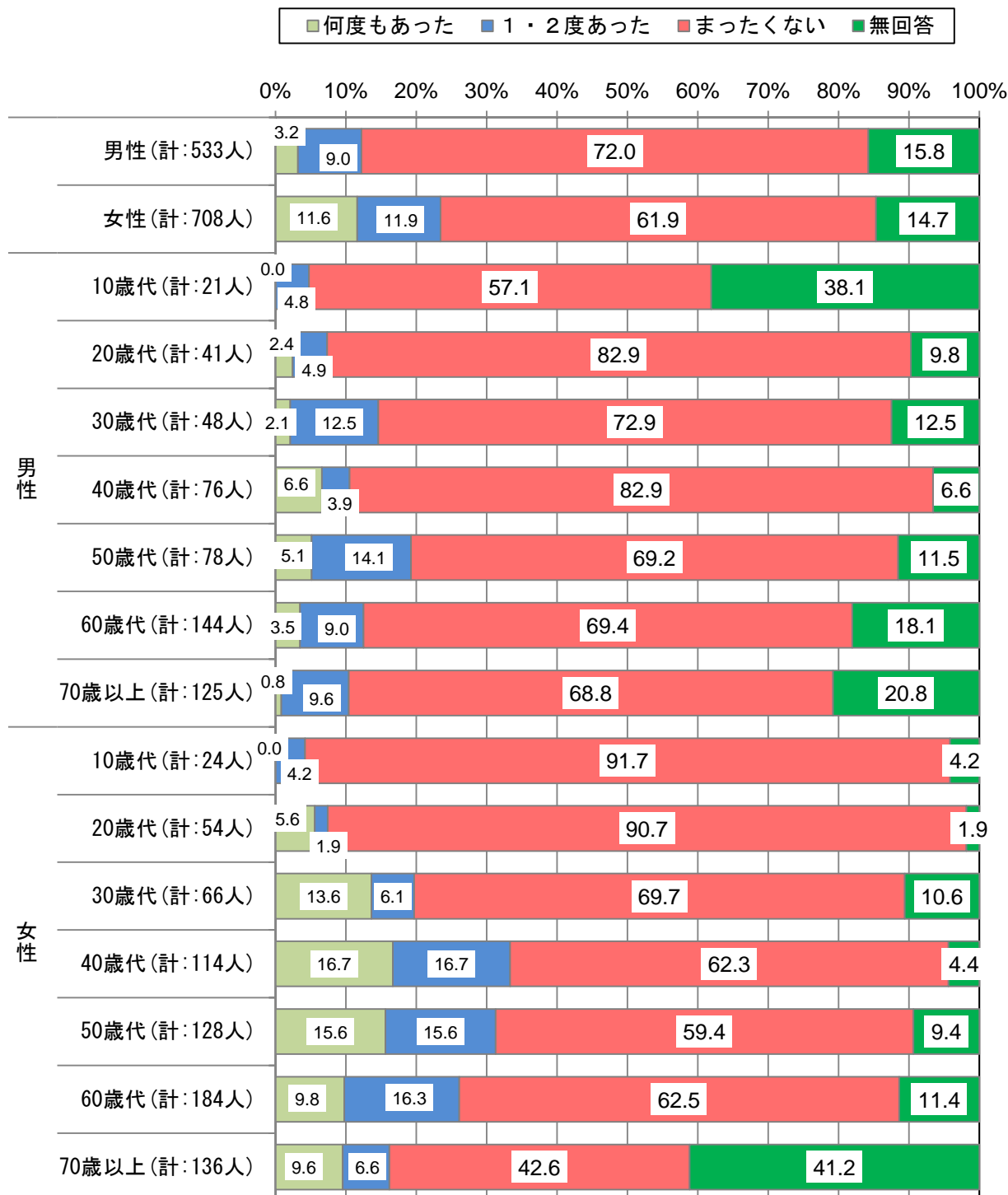
【性別・年齢別】



問 26 親密な関係にあるパートナーからの暴力が問題になっています。パートナーから次のようなことを受けたことがありますか。

(ウ) ばかにされたり、ののしられたり、命令口調でものを言われた

【性別・年齢別】

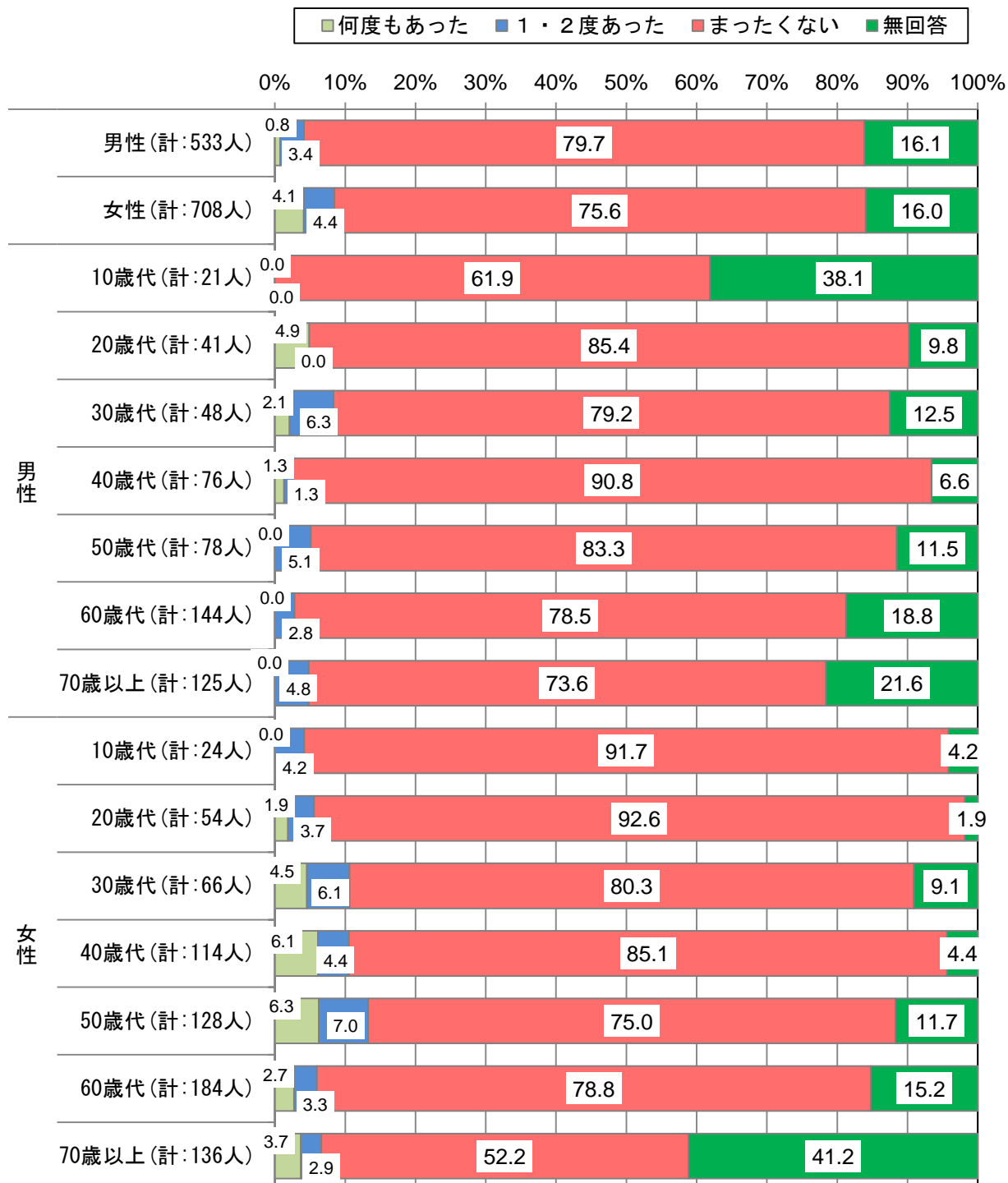




問 26 親密な関係にあるパートナーからの暴力が問題になっています。パートナーから次のようなことを受けたことがありますか。

(エ) 交友関係や電話を細かく監視された

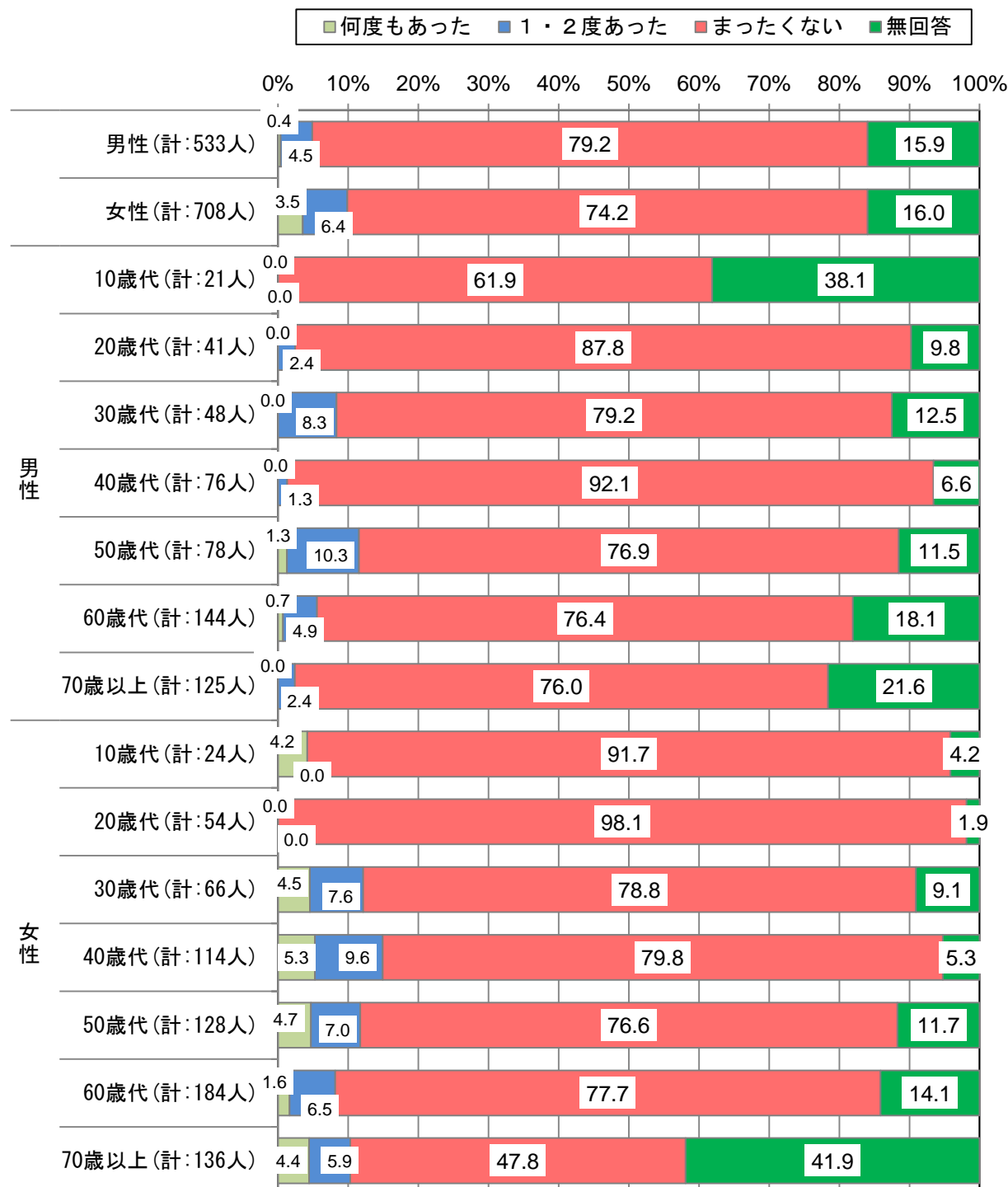
【性別・年齢別】



問 26 親密な関係にあるパートナーからの暴力が問題になっています。パートナーから次のようなことを受けたことがありますか。

(オ) げんこつや身体を傷つける可能性のあるもので、殴るふりをして脅かされた

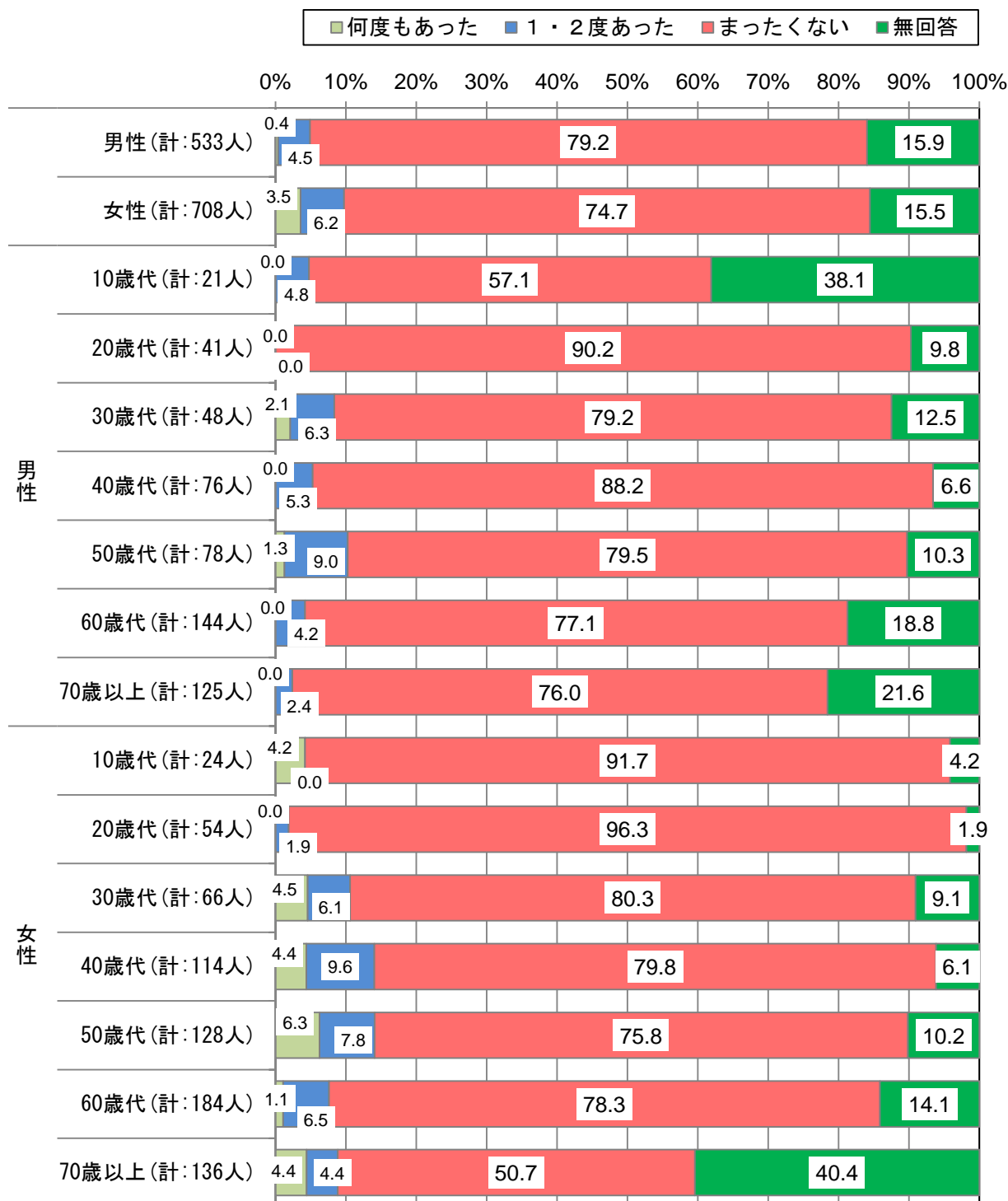
【性別・年齢別】



問 26 親密な関係にあるパートナーからの暴力が問題になっています。パートナーから次のようなことを受けたことがありますか。

(カ) 平手で打たれたり、蹴られたり、かまれたり、げんこつで殴られたりした

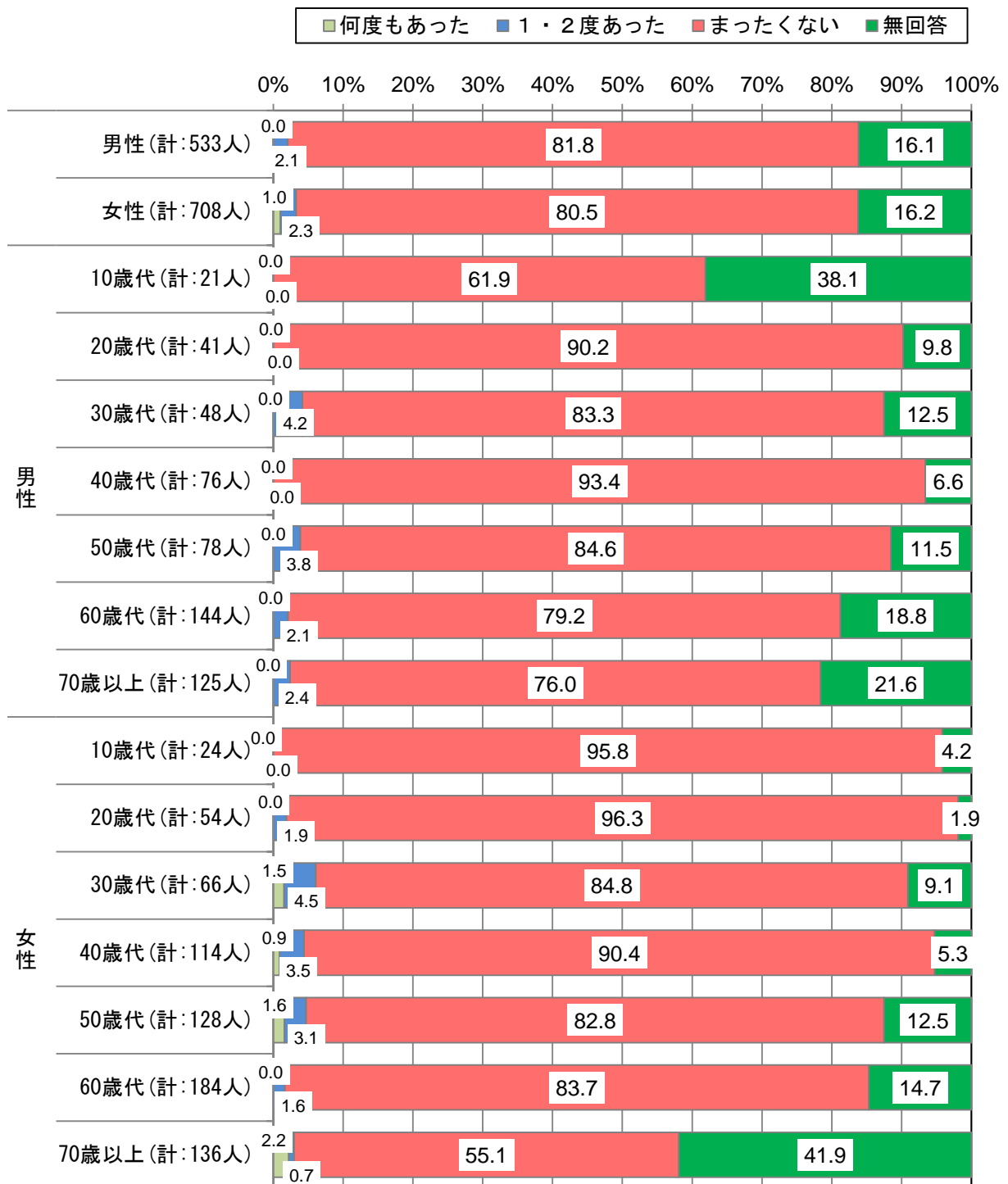
【性別・年齢別】



問 26 親密な関係にあるパートナーからの暴力が問題になっています。パートナーから次のようなことを受けたことがありますか。

(キ) 身体を傷つける可能性があるものでたたかれた

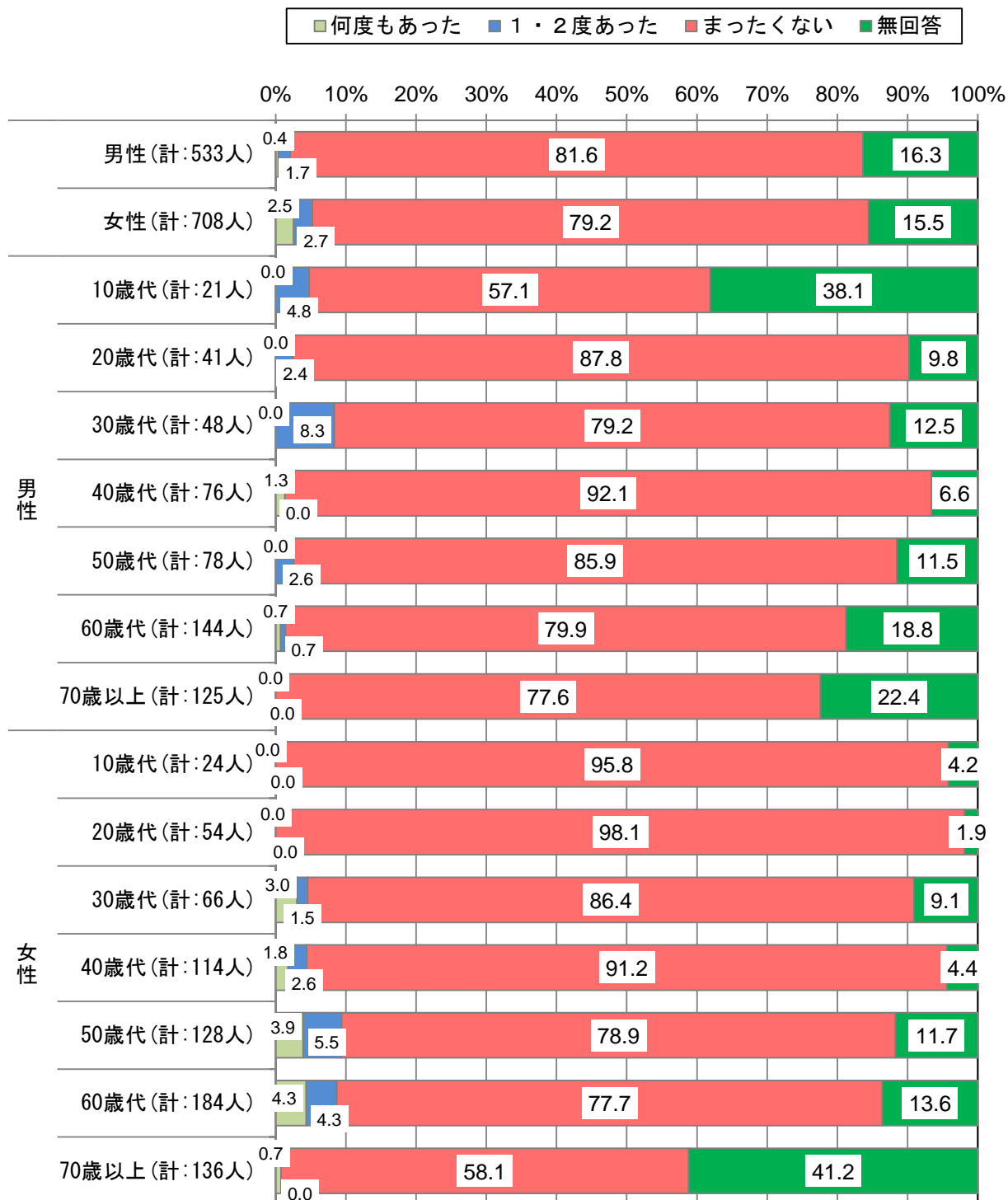
【性別・年齢別】



問 26 親密な関係にあるパートナーからの暴力が問題になっています。パートナーから次のようなことを受けたことがありますか。

(ク) 生活費を渡されないことがあった

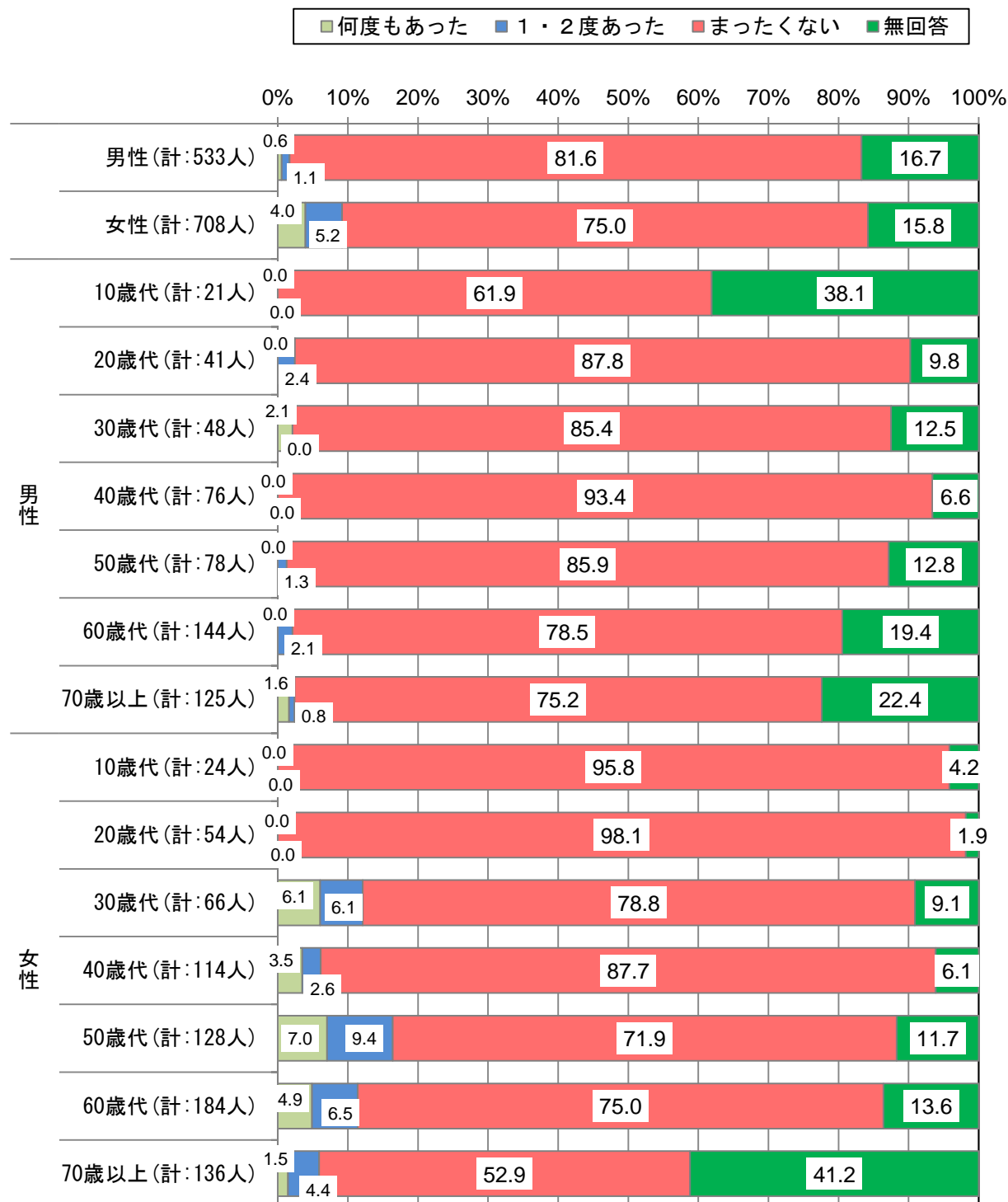
【性別・年齢別】



問 26 親密な関係にあるパートナーからの暴力が問題になっています。パートナーから次のようなことを受けたことがありますか。

(ケ) 望まない性行為を強要された

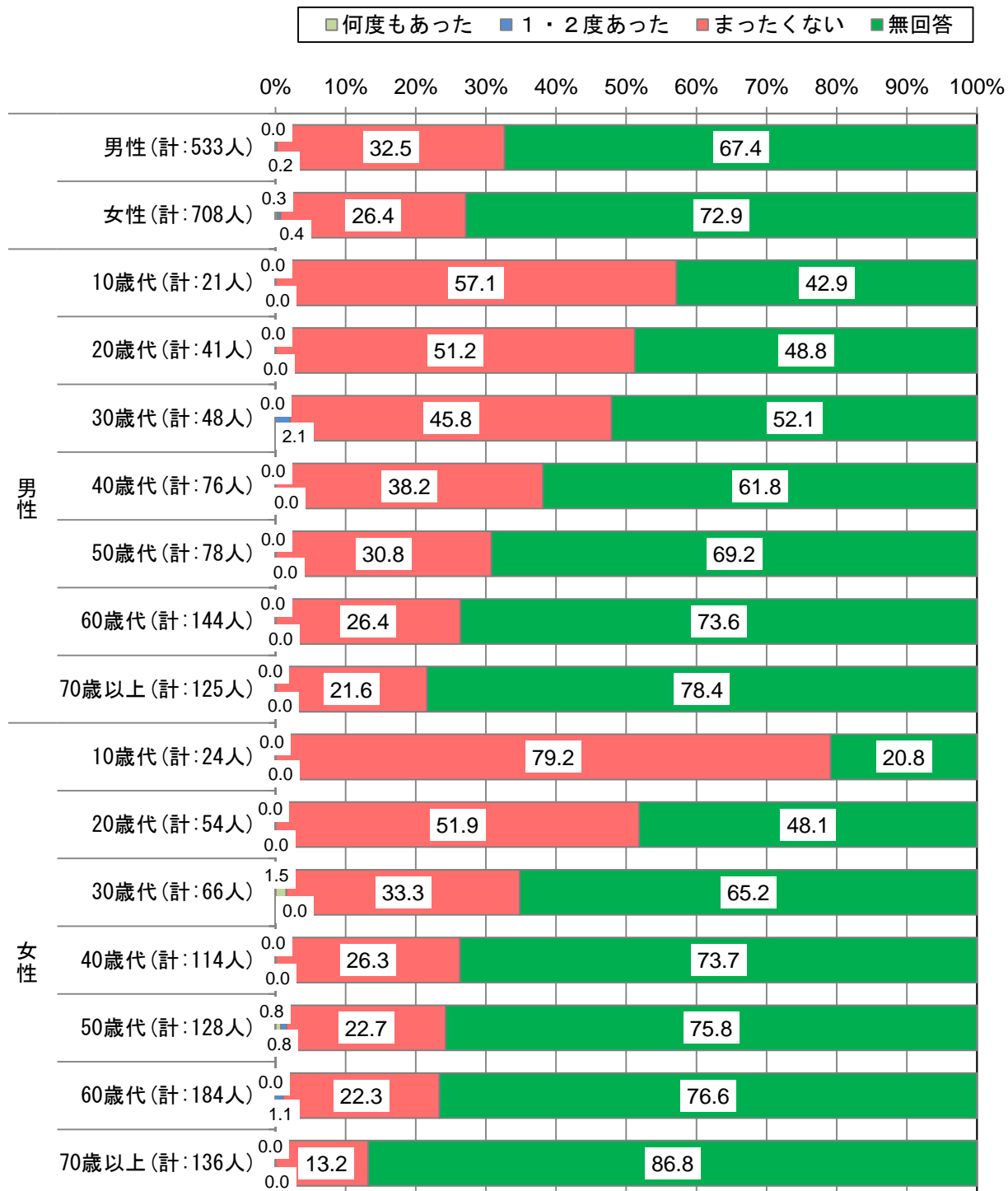
【性別・年齢別】



問 26 親密な関係にあるパートナーからの暴力が問題になっています。パートナーから次のようなことを受けたことがありますか。

(コ) その他

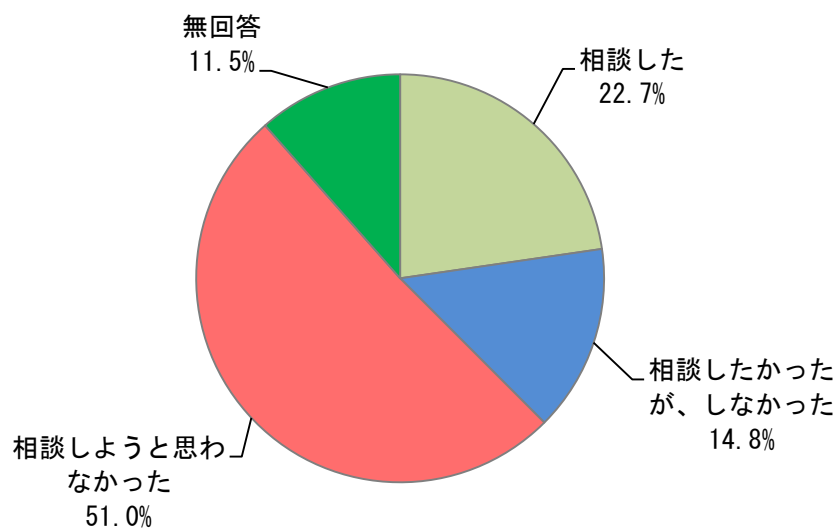
【性別・年齢別】



問27-1 これまでに、問26で挙げたような行為について、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。

(○は1つだけ)

※問26で(ア)～(コ)のいずれかで1または2と答えた方のみおこたえください。



有効回答数:304 票

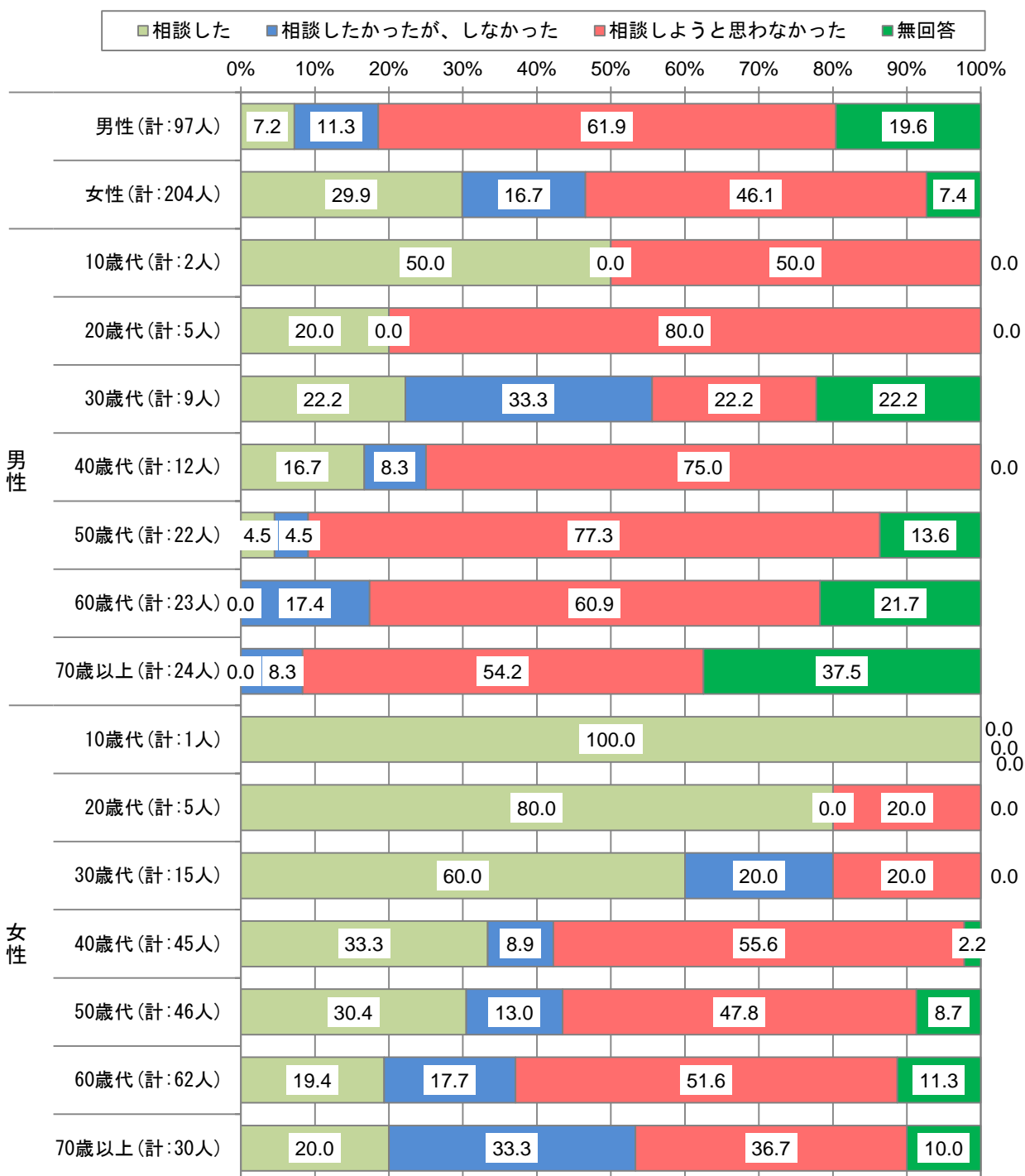


問27-1 これまでに、問26で挙げたような行為について、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。

(○は1つだけ)

※問26で(ア)～(コ)のいずれかで1または2と答えた方のみおこたえください。

【性別・年齢別】

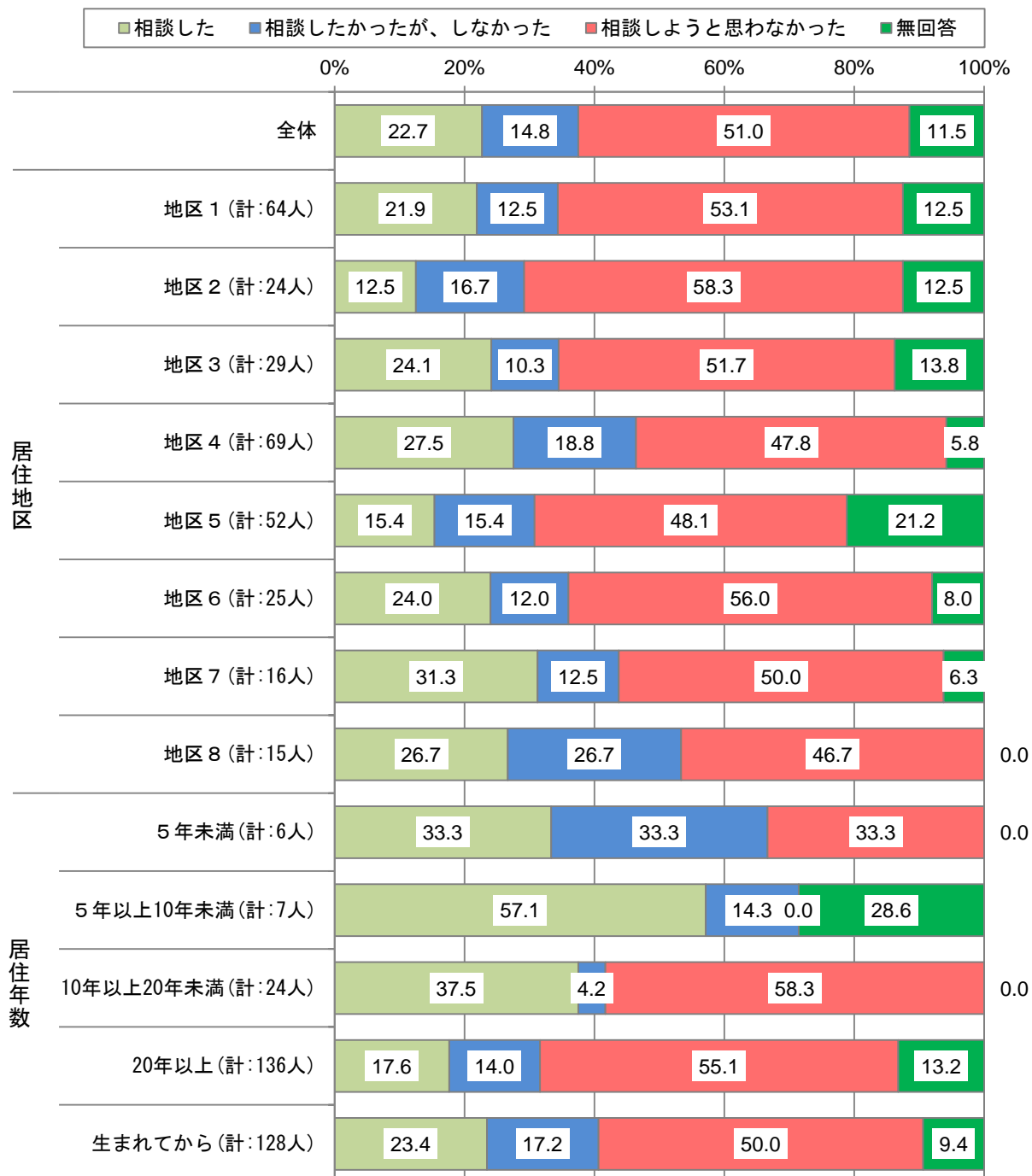


問27-1 これまでに、問26で挙げたような行為について、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。

(○は1つだけ)

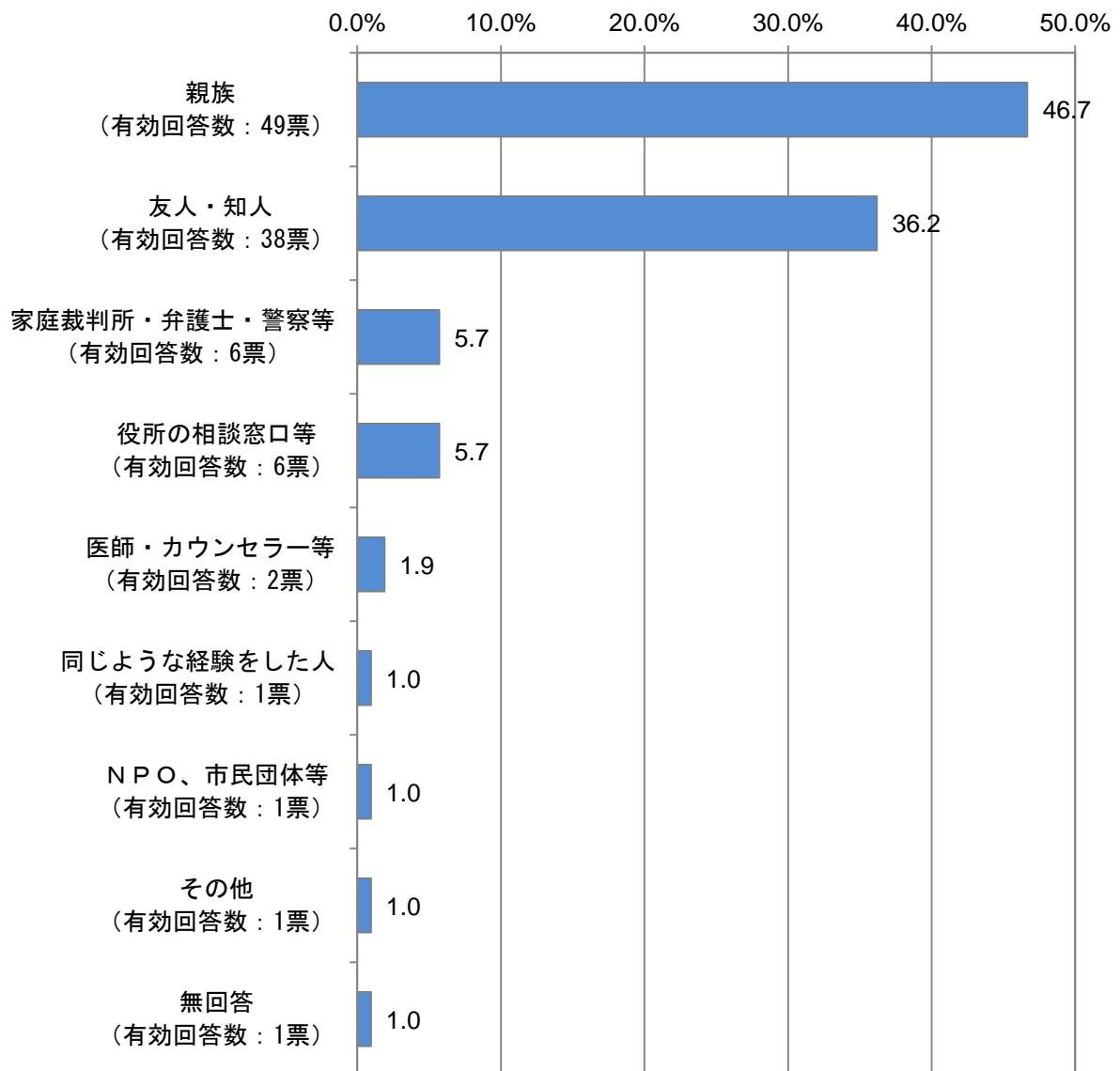
※問26で(ア)～(コ)のいずれかで1または2と答えた方のみおこたえください。

【居住地区、居住年数別】



問 27-2 実際に、誰に(どこに)相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

※問 27-1 で「1」と答えた方のみおこたえください。



問 27-2 実際に、誰に(どこに)相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

※問 27-1 で「1」と答えた方のみおこたえください。

【性別・年齢別ランキング】

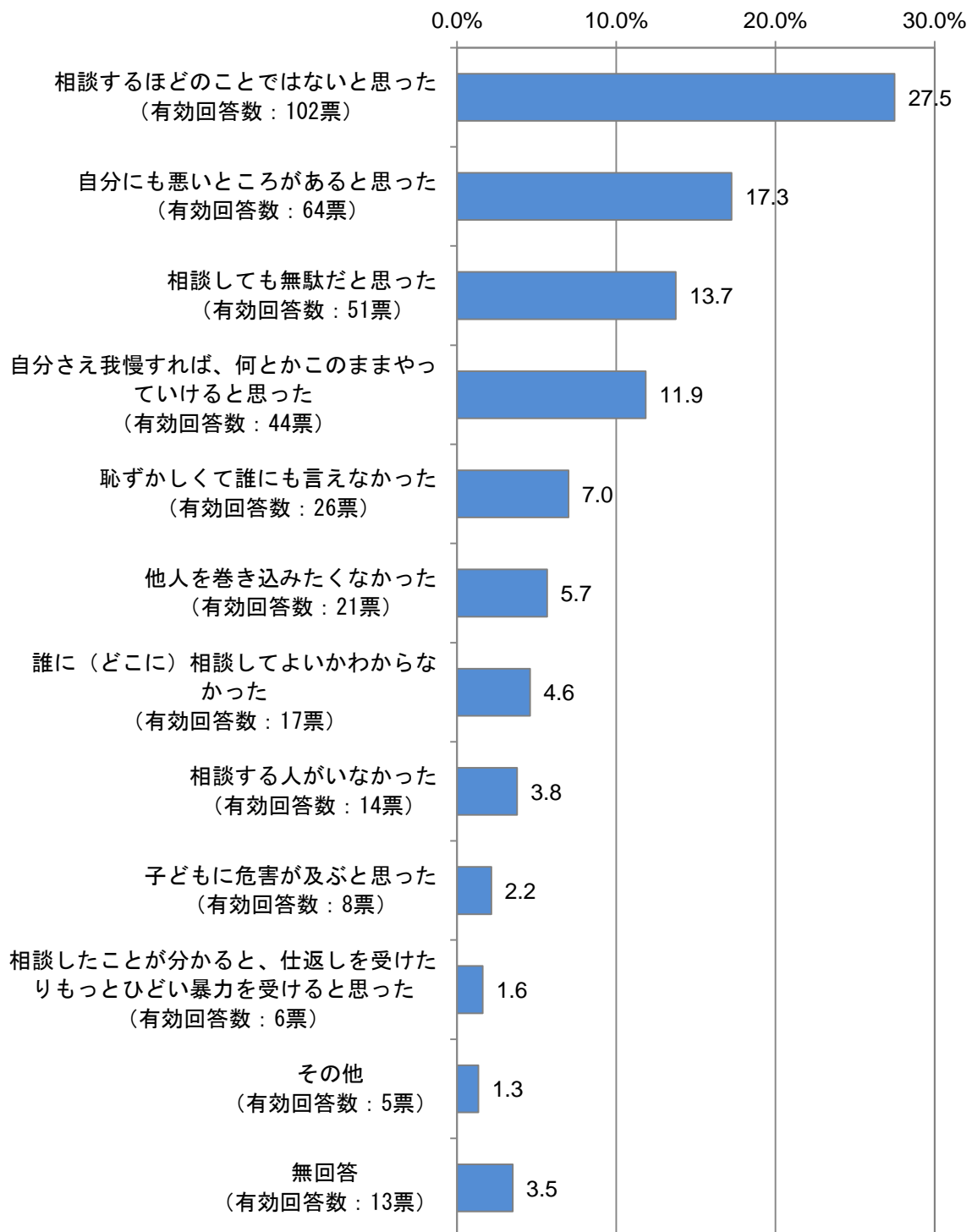
(単位:%)

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
男性 (有効回答数: 15 票)	親族	友人・知人	役所の相談 窓口等	医師・カウ ンセラー等	NPO、市民 団体等
	40.0	26.7	13.3	6.7	6.7
女性 (有効回答数: 87 票)	親族	友人・知人	家庭裁判所・ 弁護士・警察 等	役所の相談 窓口等	医師・カウ ンセラー等
	48.3	39.1	6.9	3.4	1.1

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
10 歳代 (有効回答数 2 票)	親族	友人・知人	該当なし	該当なし	該当なし
	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20 歳代 (有効回答数 7 票)	親族	友人・知人	その他	該当なし	該当なし
	57.1	28.6	14.3	0.0	0.0
30 歳代 (有効回答数 16 票)	親族	友人・知人	役所の相談 窓口等	該当なし	該当なし
	50.0	43.8	6.2	0.0	0.0
40 歳代 (有効回答数 28 票)	親族	友人・知人	役所の相談 窓口等	同じような経 験をした人	家庭裁判所・ 弁護士・警察 等
	46.4	39.3	7.1	3.6	3.6
50 歳代 (有効回答数 28 票)	親族	友人・知人	家庭裁判所・ 弁護士・警察 等	役所の相談 窓口等	医師・カウ ンセラー等
	42.9	32.1	10.7	7.1	3.6
60 歳代 (有効回答数 16 票)	友人・知人	親族	家庭裁判所・ 弁護士・警察 等	医師・カウ ンセラー等	該当なし
	43.8	37.5	6.3	6.3	0.0
70 歳以上 (有効回答数 8 票)	親族	友人・知人	家庭裁判所・ 弁護士・警察 等	役所の相談 窓口等	該当なし
	62.5	12.5	12.5	12.5	0.0

問 27-3 誰(どこ)にも相談しなかったのは、なぜですか。(あてはまるものすべてに○)

※問 27-1 で「2」または「3」と答えた方のみおこたえください。



問 27-3 誰(どこ)にも相談しなかったのは、なぜですか。(あてはまるものすべてに○)

※問 27-1 で「2」または「3」と答えた方のみおこたえください。

【性別・年齢別ランキング】

(単位:%)

※無回答は順位から省いています

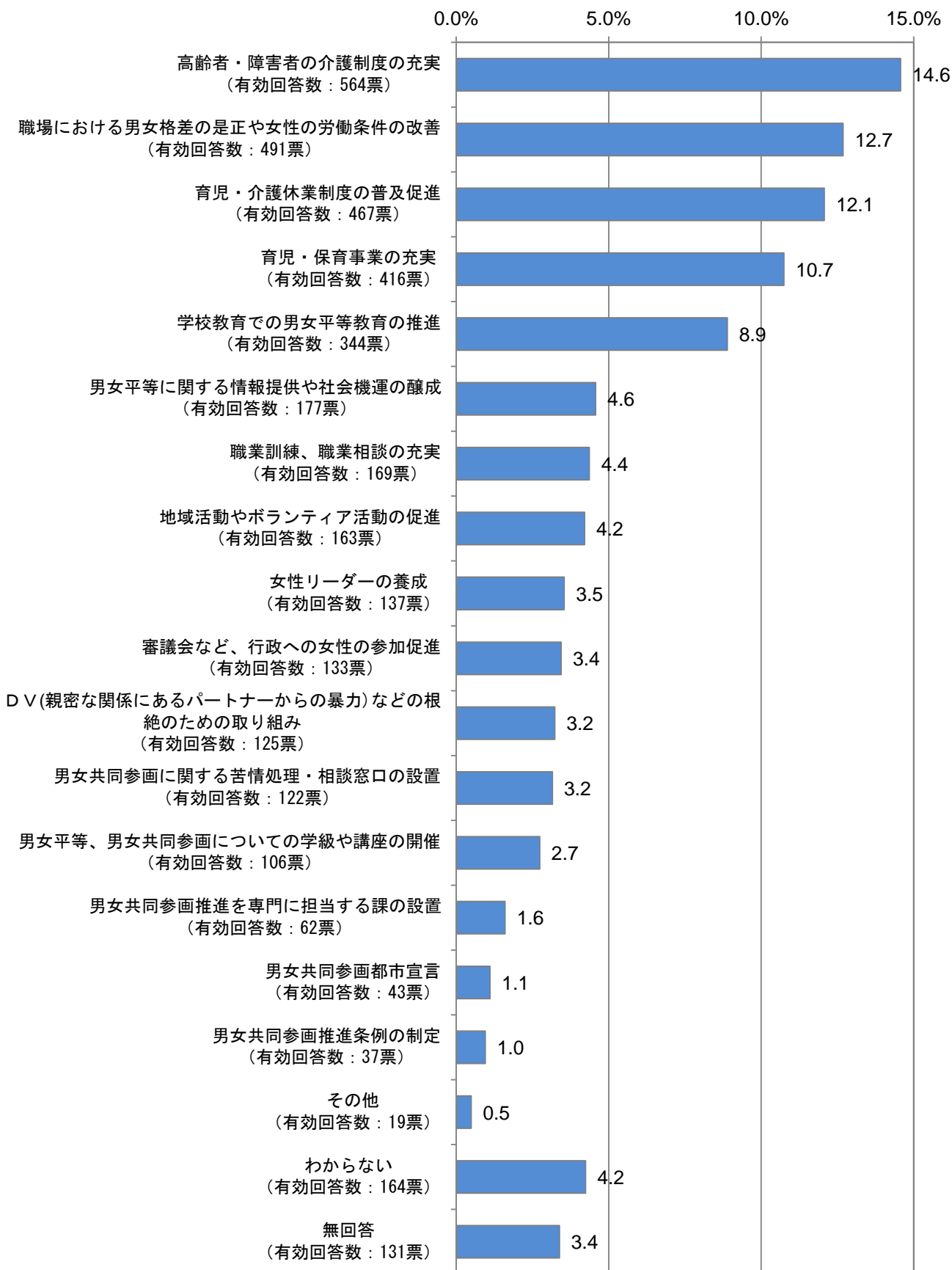
	1 位	2 位	3 位	4 位
男性 (有効回答数: 121 票)	相談するほどの ことではないと 思った	自分にも悪いとこ ろがあると思った	相談しても無駄だ と思った	自分さえ我慢すれ ば、何とかこのま まやっていると 思った
	33.1	23.1	11.6	6.6
女性 (有効回答数: 246 票)	相談するほどの ことではないと 思った	相談しても無駄だ と思った	自分さえ我慢す れば、何とかこの ままやっていると 思った	自分にも悪いとこ ろがあると思った
	25.2	14.6	14.6	14.2

※無回答は順位から省いています

	1 位	2 位	3 位	4 位
10 歳代 (有効回答数 2 票)	自分にも悪いとこ ろがあると思った	相談するほどの ことではないと 思った	該当なし	該当なし
	50.0	50.0	0.0	0.0
20 歳代 (有効回答数 9 票)	相談するほどの ことではないと 思った	相談しても無駄だ と思った	自分にも悪いとこ ろがあると思った	誰に(どこに)相談 してよいかわから なかった
	33.3	22.2	22.2	11.1
30 歳代 (有効回答数 25 票)	自分にも悪いとこ ろがあると思った	相談しても無駄だ と思った	自分さえ我慢す れば、何とかこの ままやっていると 思った	相談する人がいな かった
	24.0	16.0	16.0	12.0
40 歳代 (有効回答数 69 票)	相談するほどの ことではないと 思った	自分にも悪いとこ ろがあると思った	相談しても無駄だ と思った	自分さえ我慢すれ ば、何とかこのま まやっていると 思った
	31.9	20.3	15.9	13.0
50 歳代 (有効回答数 81 票)	相談するほどの ことではないと 思った	自分にも悪いとこ ろがあると思った	相談しても無駄だ と思った	恥ずかしくて誰に も言えなかった
	32.1	16.0	12.3	9.9
60 歳代 (有効回答数 116 票)	相談するほどの ことではないと 思った	自分にも悪いとこ ろがあると思った	自分さえ我慢す れば、何とかこの ままやっていると 思った	相談しても無駄だ と思った
	28.4	14.7	13.8	9.5
70 歳以上 (有効回答数 69 票)	相談するほどの ことではないと 思った	相談しても無駄だ と思った	自分にも悪いとこ ろがあると思った	自分さえ我慢すれ ば、何とかこのま まやっていると 思った
	20.3	18.8	15.9	13.0

## 7. 男女共同参画政策への要望

問 28 男女共同参画社会を実現するため、銚子市にどのようなことを期待しますか。(〇は5つまで)



問 28 男女共同参画社会を実現するため、銚子市にどのようなことを期待しますか。(○は5つまで)

【性別・年齢別ランキング】

(単位:%)

	1 位	2 位	3 位
男性 (有効回答数: 1668 票)	高齢者・障害者の介護 制度の充実	職場における男女格差 の是正や女性の労働条 件の改善	育児・介護休業制度の 普及促進
	13.0	11.6	11.0
女性 (有効回答数: 2175 票)	高齢者・障害者の介護 制度の充実	職場における男女格差 の是正や女性の労働条 件の改善	育児・介護休業制度の 普及促進
	15.8	13.6	13.0

※無回答は順位から省いています

	1 位	2 位	3 位
10 歳代 (有効回答数:127 票)	育児・介護休業制度の 普及促進	育児・保育事業の充実	職場における男女格差 の是正や女性の労働 条件の改善
	15.7	14.2	11.0
20 歳代 (有効回答数:309 票)	育児・介護休業制度の 普及促進	育児・保育事業の充実	職場における男女格差 の是正や女性の労働 条件の改善
	15.2	14.9	12.3
30 歳代 (有効回答数:348 票)	育児・保育事業の充実	育児・介護休業制度の 普及促進	職場における男女格差 の是正や女性の労働 条件の改善
	18.4	16.7	15.2
40 歳代 (有効回答数:606 票)	職場における男女格差 の是正や女性の労働条 件の改善	高齢者・障害者の介護 制度の充実	育児・介護休業制度の 普及促進
	14.9	14.5	12.7
50 歳代 (有効回答数:663 票)	高齢者・障害者の介護 制度の充実	職場における男女格差 の是正や女性の労働条 件の改善	育児・介護休業制度の 普及促進
	14.3	13.4	11.6
60 歳代 (有効回答数:1082 票)	高齢者・障害者の介護 制度の充実	職場における男女格差 の是正や女性の労働条 件の改善	育児・介護休業制度の 普及促進
	16.1	12.3	10.7
70 歳以上 (有効回答数:717 票)	高齢者・障害者の介護 制度の充実	職場における男女格差 の是正や女性の労働条 件の改善	育児・介護休業制度の 普及促進
	17.2	10.3	9.9



問 28 男女共同参画社会を実現するため、銚子市にどのようなことを期待しますか。(○は5つまで)

【居住地区別ランキング】

(単位:%)

1 位	1 位	2 位	3 位
地区1 (有効回答数:835 票)	高齢者・障害者の介護 制度の充実	職場における男女格差 の是正や女性の労働条 件の改善	育児・介護休業制度の 普及促進
	15.8	12.3	11.7
地区2 (有効回答数:313 票)	高齢者・障害者の介護 制度の充実	職場における男女格差 の是正や女性の労働条 件の改善	育児・介護休業制度の 普及促進
	15.3	13.1	12.5
地区3 (有効回答数:362 票)	高齢者・障害者の介護 制度の充実	職場における男女格差 の是正や女性の労働条 件の改善	育児・介護休業制度の 普及促進
	15.2	12.7	12.2
地区4 (有効回答数:900 票)	高齢者・障害者の介護 制度の充実	職場における男女格差 の是正や女性の労働条 件の改善	育児・介護休業制度の 普及促進
	14.1	12.9	12.6
地区5 (有効回答数:662 票)	高齢者・障害者の介護 制度の充実	職場における男女格差 の是正や女性の労働条 件の改善	育児・介護休業制度の 普及促進
	15.0	14.0	11.6
地区6 (有効回答数:294 票)	育児・介護休業制度の 普及促進	育児・保育事業の充実	高齢者・障害者の介護 制度の充実
	13.6	12.6	12.6
地区7 (有効回答数:236 票)	職場における男女格差 の是正や女性の労働条 件の改善	高齢者・障害者の介護 制度の充実	育児・介護休業制度の 普及促進
	13.6	13.6	11.9
地区8 (有効回答数:164 票)	高齢者・障害者の介護 制度の充実	職場における男女格差 の是正や女性の労働条 件の改善	学校教育での男女平 等教育の推進
	12.8	11.0	10.4



## IV 自由意見



男女共同参画社会づくりに関して、ご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

質問の最後に、男女共同参画社会づくりに対してご意見・ご要望を自由に記入していただきました。その内容を大別すると、次のようになります。

1. 男女平等意識について
2. 男女の役割分担について
3. 子育てと教育について
4. 労働について
5. 男女共同参画政策への要望について
6. その他

回答の集計結果は以下のとおりです。

1. 男女平等意識について	件数
性別による適性を認め合い協力する	5件
高齢者の強い男尊女卑意識	4件
性別ではなく能力によるリーダー登用	2件
性別ではなく個性や人格を尊重しあう社会づくり	2件
男尊女卑意識の棄却	2件
男女平等にしてほしい	2件
能力あるリーダーによる指導	1件
男女ともに意見を出し合う	1件
少数意見にていねいに向き合う	1件
性差の認識	1件
2. 男女の役割分担について	件数
性別ではなく個性で協力しあう	2件
役割分担教育	1件
男女異なる役割の受容	1件
役割分担の是正	1件
3. 子育てと教育について	件数
男性の育児休暇取得	1件
母子家庭への援助	1件
男性の子育てにかかる時間をつくる	1件

4. 労働環境について	件数
女性の働く場の確保	3件
育児・介護休業できる職場環境の整備	3件
雇用の確保	2件
経営者や管理職の意識改革	2件
企業への指導	1件
中小零細企業への支援	1件
労働者の意識の向上	1件
女性警察官の採用増	1件
フレックスタイム制の導入	1件
同一労働同一賃金の実施	1件
男女雇用機会均等の推進	1件
男性の無職率(フリーター、ニート)をゼロにする	1件
男女共に働ける環境づくり	1件

5. 男女共同参画政策への要望について	件数
男女共同参画の周知・教育の充実	11件
機運の醸成・普及啓発活動の実施	7件
市役所の女性職員の登用増	2件
仕事と家庭・育児を一体的に考える	1件
介護制度の充実	1件
他県の事例を研究	1件
女性が発信しやすい環境づくり	1件
女性リーダーの比率増加	1件
強く尊敬される女性づくり	1件
LGBT 問題を含めた学校教育	1件
職員の健闘に期待	1件

6. その他	件数
他の優先課題に取り組む	7件
必要なし	2件
わからない	4件
アンケートについて	4件



平成28年度 男女共同参画社会づくりのための調査結果報告書

平成29年2月

---

編集・発行 銚子市

〒288-8601 千葉県銚子市若宮町1番地の1

Tel : 0479 (24) 8181

---